



(様式第 9)

高大医医
平成 25 年

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人高知大学
医学部附属病院長 杉浦 哲良

高知大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	32 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	176人	125人	285. 9人	看護補助者	54人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	5人	9人	12. 7人	理学療法士	11人	臨床検査技師	49人
薬 剤 師	30人	2人	31. 7人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助 産 師	7人	4人	10. 4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	447人	74人	516. 1人	臨床工学技士	15人	医療社会事業従事者	7人
准 看 護 師	0人	2人	2. 0人	栄 養 士	1人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	0人	5人	5. 0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	117人
管理栄養士	5人	3人	8. 0人	診療放射線技師	26人	そ の 他 の 職 員	48人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	452. 3人	9. 2人	461. 5人
1日当たり平均外来患者数	976. 2人	83. 2人	1059. 4人
1日当たり平均調剤数	970. 3 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	54人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	14人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	34人	・原発性胆汁性肝硬変	21人
・全身性エリテマトーデス	134人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	32人
・再生不良性貧血	22人	・混合性結合組織病	21人
・サルコイドーシス	85人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	14人	・特発性間質性肺炎	11人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	164人	・網膜色素変性症	18人
・特発性血小板減少性紫斑病	50人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	20人	・肺動脈性肺高血圧症	5人
・潰瘍性大腸炎	62人	・神経線維腫症	7人
・大動脈炎症候群	6人	・亜急性硬化性全脳炎	3人
・ビュルガー病	8人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	18人	・慢性血栓性肺高血圧症	6人
・脊髄小脳変性症	33人	・ライソゾーム病	7人
・クローン病	35人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	18人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	62人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1人
・アミロイドーシス	10人	・肥大型心筋症	11人
・後縦靭帯骨化症	79人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	1人	・ミトコンドリア病	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	13人	・リンパ管筋腫症(LAM)	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	1人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	30人	・黄色靭帯骨化症	7人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	9人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、 先端巨大症、下垂体機能低下症)	35人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳がんのセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	・
・インプラント義歯	・
・抗悪性腫瘍剤感受性検査(CD-DST法)	・
・腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月8回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 12例 / 部検率 7.40%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
異常Kupffer細胞におけるNASH発症に関連する因子の同定	小野 正文	内科(消化器)	1,690,000	独立行政法人 日本学術振興会
AFP産生を伴う肝細胞増殖の制御機構解明を通じたNASHにおける肝発癌抑制	西原 利治	消化器内科学	2,210,000	独立行政法人 日本学術振興会
C型肝炎を含む代謝関連肝がんの病態解明及び治療法の開発等に関する研究	西原 利治	消化器内科学	3,000,000	東京大学
オートファジー調節による尿管脱分化と尿中再生マーカーを使う急性腎障害の再生医学	寺田 典生	内分泌代謝・腎臓内科学	4,680,000	独立行政法人 日本学術振興会
腎尿管細胞の脱分化・再生の過程におけるDNA修復、細胞周期、細胞死制御の解明	平野 世紀	内科(内分泌代謝・腎臓)	1,560,000	独立行政法人 日本学術振興会
急性腎障害に対するオートファジー調整による新規治療法の基礎的検討	香川 亨	内分泌代謝・腎臓内科学	2,730,000	独立行政法人 日本学術振興会
再生医療技術を応用した尿管細管の再生・修復による急性腎不全の新規治療法の開発	井上 紘輔	内科(内分泌代謝・腎臓)	1,040,000	独立行政法人 日本学術振興会
再生医学による急性腎障害での尿管細管再生への新規治療法の開発	緒方 巧二	内科(内分泌代謝・腎臓)	910,000	独立行政法人 日本学術振興会
腎疾患におけるオートファジーとサーチュインの病態への関与と新規治療薬の開発	島村 芳子	内科(内分泌代謝・腎臓)	910,000	独立行政法人 日本学術振興会
糖質コルチコイド過剰により惹起される過食・肥満形成メカニズムの解明	中山 修一	内科(内分泌代謝・腎臓)	3,120,000	独立行政法人 日本学術振興会
CKD患者における血清遊離型αKlothoおよびFGF23濃度測定の臨床的意義(CKDおよびCKD-MBDの新規の早期バイオマーカーとしての可能性)	寺田 典生	内分泌代謝・腎臓内科	500,000	公益財団法人日本腎臓財団
慢性腎臓病(CKD)患者における血清遊離型αKlothoおよびFGF23濃度測定による骨粗鬆症の発症リスクと生命予測の試み	寺田 典生	内分泌代謝・腎臓内科	800,000	公益財団法人骨粗鬆症財団
新規尿中バイオマーカーを用いた慢性腎臓病患者での急性腎障害の早期診断法の開発	寺田 典生	内分泌代謝・腎臓内科学	870,000	独立行政法人科学技術振興機構
セレクチンリガンドを有するKL-6/MUC1の発現機序の解明と臨床応用	横山 彰仁	血液・呼吸器内科学	6,240,000	独立行政法人 日本学術振興会
肥満による喘息悪化機序の解明—CD8陽性T細胞との関係	大西 広志	内科(血液・呼吸器)	1,820,000	独立行政法人 日本学術振興会
トロンボモジュリンの血管内皮保護薬としての臨床応用に向けた分子基盤の解明	池添 隆之	内科(血液・呼吸器)	1,950,000	独立行政法人 日本学術振興会
COPDにおける全身性炎症発現機序の解明	横山 彰仁	血液・呼吸器内科学	2,210,000	独立行政法人 日本学術振興会
呼吸不全に関する調査研究	横山 彰仁	血液・呼吸器内科学	600,000	京都大学
TM変異体による血管内皮細胞保護	池添 隆之	血液・呼吸器内科	5,000,000	公益財団法人上原記念生命科学財団
トロンボモジュリンの上皮増殖因子様構造を用いた血管内皮細胞保護薬の開発	池添 隆之	血液・呼吸器内科	830,000	独立行政法人科学技術振興機構
肥大型心筋症の病因遺伝子解析と病態修飾因子の解明	久保 亨	老年病・循環器・神経内科学	1,040,000	独立行政法人 日本学術振興会
深部脳刺激による起立性低血圧の治療	弘田 隆省	老年病・循環器・神経内科学	2,210,000	独立行政法人 日本学術振興会
慢性活動性EBウイルス感染症において特異的に発現変化する細胞遺伝子の網羅的解析	藤枝 幹也	小児思春期医学	1,820,000	独立行政法人 日本学術振興会
フェージ溶菌酵素を利用するセラチア菌感染症に対する新制御法の開発	松下 憲司	周産母子センター(小児科)	780,000	独立行政法人 日本学術振興会
GLP-1による中枢性交感神経系賦活における孤束核ノルアドレナリン神経系の役割	山本 雅樹	小児科	1,170,000	独立行政法人 日本学術振興会
高校生1万人のメンタルヘルスサポートシステムの構築について	下寺 信次	神経精神科学	650,000	独立行政法人 日本学術振興会
レビー小体型認知症の神経基盤変化に着目した認知症患者運転能力評価法の構築	上村 直人	神経精神科学	2,080,000	独立行政法人 日本学術振興会
精神疾患患者に対する早期介入とその普及啓発に関する研究	下寺 信次	神経精神科学	1,000,000	東邦大学
精神病初発症例の疫学研究および早期支援・早期治療法の開発と効果確認に関する臨床研究	下寺 信次	神経精神科学	2,000,000	東京都立松沢病院
うつ病の最適治療ストラテジーを確立するための大規模多施設共同研究	下寺 信次	神経精神科学	1,000,000	京都大学
認知症のための縦断型連携パスを用いた医療と介護の連携に関する研究	上村 直人	神経精神科学	1,500,000	熊本大学
(研究課題名)高齢者の自立支援に資する総合的研究:認知症高齢者を含む高齢者の移動・外出支援(分担する研究題目)認知症高齢者の自動車運転と家族に対する心理教育のあり方に関する検討	上村 直人	附属病院神経精神科	600,000	長寿医療研究センター
メタボリックシンドロームとしての乾癬—レプチンの関与について	中島 英貴	皮膚科学	780,000	独立行政法人 日本学術振興会
モデルマウスを用いた乾癬発症に必要なIL-23/Th17経路の解明	高石 樹朗	皮膚科学	1,430,000	独立行政法人 日本学術振興会
関節症性乾癬モデルマウス作製とその解析	山本 真有子	皮膚科学	1,300,000	独立行政法人 日本学術振興会
紫外線発癌におけるT細胞の関与について	喜多川 千恵	皮膚科	1,560,000	独立行政法人 日本学術振興会
自然免疫による抗腫瘍メカニズムの解析:紫外線誘導性皮膚癌モデルマウスを用いた検討	横川 真紀	皮膚科学	2,080,000	独立行政法人 日本学術振興会
乾癬の発症に関与する皮膚バリア障害	中島 喜美子	皮膚科学	1,690,000	独立行政法人 日本学術振興会
乾癬患者と健康人末梢血におけるTh17誘導の差異について	志賀 建夫	皮膚科	1,820,000	独立行政法人 日本学術振興会
紫外線誘導性皮膚癌モデルマウスの創製におけるプラットフォームとしての応用	横川 真紀	皮膚科学	615,000	独立行政法人科学技術振興機構
MRIを用いた乳癌術前化学療法早期治療効果予測	久保田 敬	放射線科	650,000	独立行政法人 日本学術振興会
次世代型人工膵臓を用いた糖尿病患者に対する新しい周術期血糖管理法の確立	花崎 和弘	外科学(外科1)	1,820,000	独立行政法人 日本学術振興会
腹部術後早期の起立性低血圧の予測とその予防デバイスの開発	北川 博之	外科学(外科1)	1,950,000	独立行政法人 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
肺癌に対するPorphyosome増感併用による気管支鏡下光熱治療の開発	穴山 貴嗣	外科(二)	1,430,000	独立行政法人 日本学術振興会
被包型脂肪移植モデルを用いた効果的な遊離脂肪移植法の開発	吉田 行貴	外科(二)	1,430,000	独立行政法人 日本学術振興会
新しい循環管理アルゴリズムの開発	山下 幸一	麻酔科学	2,080,000	独立行政法人 日本学術振興会
BDNFエクソンをターゲットとする痛みの評価と遺伝子療法	横山 正尚	麻酔科学	2,990,000	独立行政法人 日本学術振興会
GLP-1の薬理活性を利用した新しい周術期血糖管理法の検討	河野 崇	麻酔科蘇生科	1,950,000	独立行政法人 日本学術振興会
麻酔の認知機能に及ぼす基礎ならびに臨床研究	北岡 智子	麻酔科蘇生科	1,170,000	独立行政法人 日本学術振興会
周術期の炭水化物摂取による消化管粘膜保護作用とインスリン抵抗性改善作用の検討	矢田部 智昭	麻酔科蘇生科	1,690,000	独立行政法人 日本学術振興会
酸感受性イオンチャンネルをターゲットにした関節痛の新規治療法の開発	池内 昌彦	整形外科	520,000	独立行政法人 日本学術振興会
下肢末梢神経の低電流反復刺激法による腰部脊髄管狭窄症の新しい保存療法の開発	谷 俊一	整形外科	3,120,000	独立行政法人 日本学術振興会
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	谷 俊一	整形外科	500,000	慶應義塾大学
難治性疼痛の実態の解明と対応策の開発に関する研究	池内 昌彦	整形外科	500,000	愛知医科大学
眼炎症疾患発症におけるmiRNAの関与	西内 貴史	眼科	2,470,000	独立行政法人 日本学術振興会
嚥下障害の病態評価に基づいた集学的嚥下障害治療法の確立	兵頭 政光	耳鼻咽喉科学	910,000	独立行政法人 日本学術振興会
メチシリン耐性ブドウ球菌の遺伝子解析による慢性中耳炎遷延化の病態解明と治療戦略	小森 正博	耳鼻咽喉科学	2,080,000	独立行政法人 日本学術振興会
水代謝機構を標的とした新たなメニエール病のモデルと治療法の開発	小林 泰輔	耳鼻咽喉科学	3,380,000	独立行政法人 日本学術振興会
痙攣性発声障害に対するA型ボツリヌス毒素(ボトックス)の甲状腺破裂筋/後輪状破裂筋内局所注入療法の有効性と安全性に関する研究	兵頭 政光	耳鼻咽喉科学	8,204,000	社団法人日本医師会
エピジェネティック因子の再構築による脳腫瘍ゲノムの機能的解析	八幡 俊男	脳神経外科	650,000	独立行政法人 日本学術振興会
頭部外傷後のうつ病発症に関わるストレス感受性分子の同定とその機序の解明	東 洋一郎	脳神経外科	1,950,000	独立行政法人 日本学術振興会
神経幹細胞の非対称分裂異常による発ガン機構の解析	清水 恵司	脳神経外科学	1,820,000	独立行政法人 日本学術振興会
Olig2陽性細胞から選択的に誘導したニューロンを用いた神経再生医療の基礎的検討	政平 訓貴	脳神経外科	1,300,000	独立行政法人 日本学術振興会
悪性グリオーマに対するスベルリナの免疫賦活作用を用いた新たな免疫療法の開発	川西 裕	脳神経外科	2,600,000	独立行政法人 日本学術振興会
腎癌VHL遺伝子異常解析によるHIF蛋白の発現予測と分子標的薬の効果予測法の開発	執印 太郎	泌尿器科学	1,820,000	独立行政法人 日本学術振興会
新規発癌関連遺伝子の探索を目指した光力学診断偽陽性尿路上皮の網羅的遺伝子解析	井上 啓史	泌尿器科学	520,000	独立行政法人 日本学術振興会
乳頭状腎癌関連因子pCAMによる新たな分子病理学的分類と分化誘導療法の確立	辛島 尚	泌尿器科学	3,120,000	独立行政法人 日本学術振興会
前立腺癌におけるISG15の分子メカニズムの解析と発症に関わる原因ウイルスの探索	佐竹 宏文	泌尿器科学	1,560,000	独立行政法人 日本学術振興会
腎細胞癌におけるTKI耐性獲得機序の解明	島本 力	泌尿器科	1,690,000	独立行政法人 日本学術振興会
フォン・ヒッペル・リンドウ病の診療指針に基づく診断治療体制確立の研究	執印 太郎	泌尿器科学	2,400,000	国立保健医療科学院
がん医療経済的解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究	執印 太郎	泌尿器科学	900,000	東北大学
5-アミノレブリン酸(5-ALA)による蛍光膀胱鏡を用いた膀胱癌の光学的診断に関する多施設共同試験	執印 太郎	泌尿器科学	92,405,000	社団法人日本医師会
治験の実施に関する研究【5-アミノレブリン酸】	執印 太郎	泌尿器科学	3,800,000	社団法人日本医師会
尿路上皮癌に対する5-アミノレブリン酸を用いた光力学治療の新規確立	井上 啓史	泌尿器科	1,000,000	公益財団法人がん集学的治療研究財団
尿路上皮腫瘍の光動学的スクリーニングシステムの確立	井上 啓史	泌尿器科学	650,000	独立行政法人科学技術振興機構
BRISAおよび尿検査試験紙による尿路癌の新たな検査法の開発	執印 太郎	泌尿器科学	130,000	独立行政法人科学技術振興機構
口腔癌の局所腫瘍免疫に及ぼす低酸素環境ならびにHIF-1αの影響	山本 哲也	歯科口腔外科学	6,370,000	独立行政法人 日本学術振興会
口蓋裂発症における酸化ストレスの関与	山田 朋弘	歯科口腔外科学	1,300,000	独立行政法人 日本学術振興会
扁平上皮癌におけるMFG-E8の役割-癌細胞からの産生とEatメシグナル	北村 直也	歯科口腔外科	1,040,000	独立行政法人 日本学術振興会
細胞融合に立脚した口腔扁平上皮癌の早期診断・予防方法の開発に向けた基礎的研究	山本 哲也	歯科口腔外科学	2,340,000	独立行政法人 日本学術振興会
EphrinB2を標的とした脈管新生抑制による口腔癌の制御	笹部 衣里	歯科口腔外科	1,170,000	独立行政法人 日本学術振興会
口腔癌におけるMicroRNAの機能解析に基づく放射線増感薬の開発	吉村 友秀	歯科口腔外科	1,690,000	独立行政法人 日本学術振興会
ヒト歯根膜幹細胞におけるSSEA-4の役割に関する研究	村田 智子	歯科口腔外科	1,430,000	独立行政法人 日本学術振興会
腹筋電気刺激によるフィードバック血圧制御装置の開発	山崎 文晴	検査部	1,300,000	独立行政法人 日本学術振興会
ピロリ菌膜蛋白による血小板凝集と血小板関連疾患発症メカニズムの解明	森本 徳仁	検査部	1,430,000	独立行政法人 日本学術振興会
たこつぼ心筋症の成因に関する研究-糖代謝・炎症を機軸とした中枢神経系の関与	公文 義雄	病態情報診断学	1,690,000	独立行政法人 日本学術振興会
呼吸器悪性腫瘍における新規癌ウイルス感染実態の網羅的解析	上岡 樹生	病態情報診断学	1,820,000	独立行政法人 日本学術振興会
ピロリ菌固有の独自進化した細胞分裂システム(細胞死含)とその病原性の解明	竹内 啓晃	病態情報診断学	3,250,000	独立行政法人 日本学術振興会
血小板活性化を伴うピロリ感染症の急性冠症候群への関与	杉浦 哲朗	病態情報診断学	3,900,000	独立行政法人 日本学術振興会
肝虚血再灌流における急激な血糖上昇の機序の解明とその予防策の検討	福永 賀予	集中治療部	2,080,000	独立行政法人 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
固定式全方向歩行訓練器の開発とその有用性調査	石田 健司	リハビリテーション部	3,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
脊髄損傷患者の歩容改善のためのリハビリテーション手技構築	細田 里南	リハビリテーション部	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
無拘束・無意識下での嚥下筋活動と排痰行為の客観的評価方法の開発と有用性の検討	岩村 健司	リハビリテーション部	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
平行棒付き回転盤を用いて、平行棒内の回転動作やトイレ動作を容易にする機器の開発	上野 将之	リハビリテーション部	600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
高齢者の体幹姿勢と歩行の質（歩幅距離や速度など）との関係調査と歩行指導の開発研究	榎 勇人	リハビリテーション部	500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
運動器疾患の評価と要介護予防のための指標開発および効果的介入方法に関する調査研究	石田 健司	リハビリテーション部	1,000,000	補委 東京大学
虚弱高齢者のための児童・生徒参加型高齢者健診と運動器リハモデルに関する研究	永野靖典	リハビリテーション部	400,000	補委 黒潮町
医療・介護現場のニーズに対応した移乗動作介助機器の実用化	石田 健司	リハビリテーション部	1,264,000	補委 独立行政法人科学技術 振興機構
日本人における直腸肛門機能検査および超音波検査の正常範囲	味村 俊樹	骨盤機能センター	780,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
高知県産ショウガを利用した嚥下機能改善品の開発	宮村 充彦	附属病院薬剤部	1,130,000	補委 独立行政法人科学技術 振興機構

計100件

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol	Prevalence and associated metabolic factors of nonalcoholic fatty liver disease in the general population from 2009 to 2010 in Japan: a multicenter large retrospective study.	Eguchi Y, Hyogo H, Ono M, Mizuta T, Ono N, Fujimoto K, Chayama K, Saibara T(JSG-NAFLD)	第一内科
PLoS One	Genetic Polymorphisms of the Human PNPLA3 Gene Are Strongly Associated with Severity of Non-Alcoholic Fatty Liver Disease in Japanese.	Kawaguchi T, Sumida Y, Umemura A, Matsuo K, Takahashi M, Takamura T, Yasui K, Saibara T, Hashimoto E, Kawanaka M, Watanabe S, Kawata S, Imai Y, Kokubo M, Shima T, Park H, Tanaka H, Taijima K.	第一内科
Hepatol Res	Complications of radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma in a multicenter study: An analysis of 16 346 treated nodules in 13 283 patients.	Koda M, Murawaki Y, Hirooka Y, Kitamoto M, Ono M, Sakaeda H, Joko K, Sato S, Tamaki K, Yamasaki T, Shibata H, Shimoe T, Matsuda T, Toshikuni N, Fujioka SI, Ohmoto K, Nakamura S, Kariyama K, Aikata H, Kobayashi Y, Tsutsui	第一内科
Clin Exp Nephrol 16:81-88, 2012.	Aldosterone Stimulates nuclear factor-kappa B activity and transcription of intercellular adhesion molecule-1 and connective tissue growth factor in rat mesangial cells via serum-and glucocorticoid-inducible protein	Terada Y, Ueda S, Hamada K, Shimamura Y, Ogata K, Inoue K, Taniguchi Y, Kagawa T, Horino T, Takao T	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Am J Physiol Renal Physiol 303:F689-699, 2012.	Upregulation of HNF-1 β during experimental acute kidney injury plays a crucial role in renal tubule regeneration.	Ogata K, Shimamura Y, Hamada K, Hisa M, Bun M, Okada N, Inoue K, Taniguchi Y, Ishinara M, Kagawa T, Horino T, Fujimoto S, Terada Y	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
The New England Journal of Medicine 366: 2408, 2012	Pencil-Core Granuloma.	Taguchi T, Terada Y	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)

J Clin Endocrinol Metab 97(8):2575-2576 , August 2012	Remarkable Cystic Expansion of Microprolactinoma Causing Diabetes Insipidus during Pregnancy.	Amano E, Nishiyama M, Iwasaki Y, Matsushima S, Oguri H, Fukuhara N, Nishioka H, Yamada S, Inoshita N, Fukaya	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Clin Exp Nephrol 16 : 722-729, 2012	Serum levels of soluble secreted α -Klotho are decreased in the early stages of chronic kidney disease, making it a probable novel biomarker for early diagnosis.	Shimamura Y, Hamada K, Inoue K, Ogata K, Ishihara M, Kagawa T, Inoue M, Fujimoto S, Ikebe M, Yuasa K, Yamanaka S, Sugiura T, Terada Y	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Mod Rheumatol 22:939-941, 2012.	Frequency of enthesitis in apparently healthy Japanese subjects detected by (18)F FDG-PET/CT.	Taniguchi Y, Kumon Y, Ohnishi T, Nogami M, Tani T, Ogawa Y, Sugiura T, Terada Y	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Diabetes 61(5):1062-71, 2012	Liver X receptor α is involved in the transcriptional regulation of the 6-phosphofructo-2-kinase/fructose-2,6-disphosphatase gene.	Zhao LF, Iwasaki Y, Nishiyama M, Taguchi T, Tsugita M, Okazaki M, Nakayama S, Kambayashi M, Fujimoto S, Hashimoto K, Murao K, Terada Y	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Am J physiol Renal Physiol. 302(9):F1161-71 , 2012.	Both cyclin I and p35 are required for maximal survival benefit of cyclin-dependent kinase 5 in kidney podocytes.	Taniguchi Y, Pippin JW, Hagmann H, Krofft RD, Chang AM, Zhang J, Terada Y, Brinkkoetter P, Shankland SJ	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Clin Endocrinol 76:593-601, 2012	Plasma dehydroepiandrosterone sulphate and insulin-like growth factor 1 levels in obstructive sleep	Makino S, Fujiwara M, Handa H, Fujie T, Aoki Y, Hashimoto K, Terada Y, Sugimoto T.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)

Clin Exp Nephrol 16 : 903-920, 2012.	Renal disease in the elderly and the very elderly Japanese: analysis of the Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR) .	Yokoyama H, Sugiyama H, Sato H, Taguchi T, Nagata M, Matsuo S, Makino H, Watanabe T, Saito T, Kiyohara Y, Nishi S, Iida H, Morozumi K, Fukatsu A, Sasaki T, Tsuruya K, Khoda Y, Higuchi M, Kiyomoto H, Goto S, Hattori M, Hataya H, Kagami S, Yoshikawa Y, Fukasawa Y, Ueda Y, Kitamura H, Shimizu A, Oka K, Nakagawa, Ito T, Uchida S, Furuichi K, Nakaya I, Umemura S, Hiromura K, Yoshimura M, Hirawa N, Shigematsu T, Fukagawa M, Hiramatsu M, Terada Y, Uemura O, Kagawa T, Matsunaga A, Kusaki A, Mori Y	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
ACTH RELATED PEPTIDES 23, 83-84, 2012.	副腎不全診断時におけるCRH負荷試験の有用性.	西山 充、岩崎泰正、西岡達矢、橋本浩三	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Leuk Res. 2012 May;36(5):625-33.	Thrombomodulin-induced differentiation of acute myelomonocytic leukemia cells via	Yang J, Ikezoe T, Nishioka C, Honda G, Yokoyama A.	第三内科
Exp Hematol. 2012 Jun;40(6):457-65.	Thrombomodulin protects endothelial cells from a calcineurin inhibitor-induced cytotoxicity by upregulation of extracellular signal-regulated kinase/myeloid leukemia cell-1	Ikezoe T, Yang J, Nishioka C, Isaka M, Iwabu N, Sakai M, Taniguchi A, Honda G, Yokoyama A.	第三内科
Hiroshima J Med Sci. 2012 Jun;61(2):29-36.	Cigarette smoking decreases dynamic inspiratory capacity during maximal exercise in patients with type 2	Kitahara Y, Hattori N, Yokoyama A, Yamane K, Sekikawa K, Inamizu T, Kohno N.	第三内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2012 Sep;32(9):2259-70.	Thrombomodulin protects endothelial cells from a calcineurin inhibitor-induced cytotoxicity by upregulation of extracellular signal-regulated kinase/myeloid leukemia cell-1	Ikezoe T, Yang J, Nishioka C, Honda G, Furihata M, Yokoyama A.	第三内科

Leuk Res. 2012 Nov;36(11):1398-402.	Recombinant human soluble thrombomodulin safely and effectively rescues acute promyelocytic leukemia patients from disseminated intravascular	Ikezoe T, Takeuchi A, Isaka M, Arakawa Y, Iwabu N, Kin T, Anabuki K, Sakai M, Taniguchi A, Togitani K, Yokoyama A.	第三内科
Leuk Res. 2013 Jan;37(1):76-82.	A novel treatment strategy targeting shugoshin 1 in hematological malignancies.	Yang J, Ikezoe T, Nishioka C, Yokoyama A.	第三内科
BMJ Open. 2013 Feb 20;3(2).	Cross-sectional and prospective study of the association between lung function and prediabetes.	Yamane T, Yokoyama A, Kitahara Y, Miyamoto S, Haruta Y, Hattori N, Yamane K, Hara H, Kohno N.	第三内科
Immunology. 2013 Mar;138(3):216-27.	The combination of I κ B kinase β inhibitor and everolimus modulates expression of interleukin-10 in human T-cell lymphotropic virus type-1-infected T	Nishioka C, Ikezoe T, Yang J, Udaka K, Yokoyama A.	第三内科
J Cardiol, 59, 209-214, 2012	Serum tenascin-C level as a prognostic biomarker of heart failure events in patients with hypertrophic cardiomyopathy.	Kitaoka H, Kubo T, Baba Y, Yamasaki N, Matsumura Y, Furuno T, Doi YL	老年病科
J Cardiovasc Pharmacol, 60, 310-314, 2012	Influences of donepezil on cardiovascular system -Possible therapeutic benefits for heart failure- Donepezil Cardiac Test Registry	Kubo T, Sato T, Noguchi T, Kitaoka H, Yamasaki F, Kamimura N, Shimodera S, Iiyama T, Kumagai N, Kakinuma Y, Diedrich A, Jordan J, Robertson D, Doi YL	老年病科
International Heart J, 53, 287-292, 2012	Usefulness of high-sensitive cardiac troponin T for evaluating the activity of cardiac sarcoidosis.	Baba Y, Kubo T, Kitaoka H, Okawa M, Yamanaka S, Kawada Y, Yamasaki N, Matsumura Y, Furuno T, Sugiura T, Doi YL	老年病科
Circ J, 76, 453-461, 2012	Prevalence and distribution of sarcomeric gene mutations in Japanese patients with familial hypertrophic cardiomyopathy.	Otsuka H, Arimura T, Abe T, Kawai H, Aizawa Y, Kubo T, Kitaoka H, Nakamura H, Nakamura K, Okamoto H, Ichida F, Ayusawa M, Nunoda S, Isobe M, Matsuzaki M, Doi YL, Fukuda K, Sasaoka T, Izumi T.	老年病科

J Cardiol Jpn Ed, 7, 194-198, 2012	アトルバスタチンはロバスタチンよりも急性冠症候群患者の腎機能低下を抑制する	桑原昌則, 近藤史明, 濱田知幸, 高橋純一, 竹中奈苗, 森本啓介, 西野潔, 古野貴志, 久保亨, 北岡裕章, 土居	老年病科
International J General Med, 5, 753-758, 2012	Metabolic effect of combined telmisartan and nifedipine CR therapy in patients with essential hypertension.	Shimizu Y, Yamasaki F, Furuno T, Kubo T, Sato T, Doi Y, Sugiura T	老年病科
J Cardiol Cases, e1-e3, 2012	Complex venous malformation in an elderly female: A case report.	Terauchi, Y, Tashiro M, Kubo T, Nakashima Y, Ueda M, Baba Y, Yamasaki N, Matsumura Y, Furuno T, Kitaoka H, Doi Y	老年病科
Clin Nephrol, 77(1), 49-54, 2012	Clinical characteristics of obstructive uropathy associated with rotavirus gastroenteritis in Japan.	Ashida A, Fujieda M, Ohata K, Nakakura H, Matsumura H, Morita T, Takasugi T, Tamai H.	小児科
Clin Nephrol 78(1), 40-46, 2012.	Effect of single-dose oral mizoribine pulse therapy twice per week for frequently relapsing steroid-dependent nephrotic syndrome	Fujieda M, Ishihara M, Morita T, Hayashi A, Okada S, Ohta T, Sakano T, Wakiguchi H	小児科
Microbiol Immunol, 56, 56-61, 2012	A novel anti-peroxiredoxin auto antibody in patients with Kawasaki	Fujieda M, Karasawa R, Takasugi T, Yamamoto M, Kataoka K, Kato T, Ozaki S.	小児科
特種ミルク情報. 48, 32-24, 2012	年長児の糖原病	荒木まり子, 藤枝幹也	小児科
小児科診療, 75 (増), 193-197, 2012	【小児の診療手技100】 穿刺 骨髄穿刺	堂野純孝	小児科
看護学生, 59(13), 20-25, 2012	これでわかる!疾患の基礎知識 小児気管支	大石 拓	小児科
小児疾患の診断治療基準 第4版 小児内科, 44 (増), 660-661, 小児科学レクチャー, 2(3), 620-626, 2012	腎尿路結石症	藤枝幹也	小児科
アレルギーの臨床, 32(14), 1323-1327, 2012	【小児のアレルギー Q&A-ガイドラインと日常診療を結ぶ知恵袋-】 気管支喘息 患者 特集/ 喘息難治化の要因と治療「アドヒアランスの問題」	大石 拓	小児科
小児高血圧研究会誌, 9(1), 58-62, 2012	腎血管性高血圧を合併した神経線維腫症1型の乳児例	田村玲子, 満田直美, 石原正行, 山本雅樹, 佐藤哲也, 高杉尚志, 細川卓利, 久川浩章, 藤枝幹也, 脇口 宏.	小児科
小児科臨床, 65(7), 1663-1667, 2012	治療に難渋した乳び胸の13歳男児例	富田 理, 前田明彦, 中嶋絢子, 大石拓, 高杉尚志, 緒方宏美, 廣瀬健太郎, 久米基彦, 藤枝幹也, 脇口 宏	小児科

小児リウマチ, 3(1), 15-18, 2012	竹の節声帯結節を認めた混合性結合組織病の女児例	満田直美, 藤枝幹也, 西窪加緒里, 原 拓磨, 石原正行, 森田拓, 荒木まり子, 高杉尚志, 細川卓利, 前田明彦, 脇口 宏	小児科
East Asian Arch Psychiatry	Early psychosis declaration for Asia by the Asian network of early psychosis.	An SK, Chan SK, Chang WC, Chen EY, Chong SA, Chung YC, Hui CL, Hwu HG, Iwata N, Irmansyah I, Jang JH, Kwon JS, Lee JC, Lee HM, Lee EH, Li T, Liu Z, Ma X, Mangala R, Marchira C, Matsumoto K, Mizuno M, Shimodera S, Subandi MA, Suzuki M, Tay SA, Thara R, Verma SK	精神科
Mol Psychiatr	Genetic evidence for association between NOTCH4 and schizophrenia supported by a GWAS follow-up study in a Japanese population.	Ikeda M, Aleksic B, Yamada K, Iwayama-Shigeno Y, Matsuo K, Numata S, Watanabe Y, Ohnuma T, Kaneko T, Fukuo Y, Okochi T, Toyota T, Hattori E, Shimodera S, Itakura M, Nunokawa A, Shibata N, Tanaka H, Yoneda H, Arai H, Someya T, Ohmori T, Yoshikawa T, Ozaki N	精神科
Asia-Pac Psychiatry	Public speaking fears and their correlates among 17,615 Japanese adolescents.	Furukawa TA, Watanabe N, Kinoshita Y, Kinoshita K, Sasaki T, Nishidas A, Okazaki Y, Shimodera	精神科
J Nerv Ment Dis	Not only body weight perception but also body mass index is relevant to suicidal ideation and self-harming behavior in Japanese	Kinoshita K, Kinoshita Y, Shimodera S, Nishida A, Inoue K, Watanabe N, Oshima N, Akechi T, Sasaki T, Inoue S, Furukawa TA.	精神科
Schizophr Res	Meta-analysis of association studies between DISC1 missense variants and schizophrenia in the Japanese	Kinoshita M, Numata S, Tajima A, Ohi K, Hachimoto R, Shimodera S, Imoto I, Itakura M, Takeda M, Ohmori T	精神科
NeuroMol Med	DNA methylation signatures of peripheral leukocytes in schizophrenia.	Kinoshita M, Numata S, Tajima A, Shimodera S, Ono S, Imamura A, Iga J, Watanabe S, Kikuchi K, Kubo H, Nakataki M, Sumitani S, Imoto	精神科

J. Cardiovasc Pharmacol	Influences of donepezil on cardiovascular system possible therapeutic benefits for heart failure Donepezil Cardiac Test Registry	Kubo T, Sato T, Noguchi T, Kitaoka H, Yamasaki F, Kamimura N, Shimodera S, Iiyama T, Kumagai N, Kakinuma Y, Diedrich A, Jordan J, Robertson D, Doi YL	精神科
Early Intervention in Psychiatry	Duration of untreated psychosis in a rural/suburban region of Japan.	Lihong Q, Shimodera S, Fujita H, Morokuma I, Nishida A, Kamimura N, Mizuno M, Furukawa TA, Inoue S	精神科
J Pediatr Psychol	The suicidal feelings, self-injury, and mobile phone use after lights out in	Oshima N, Nishida A, Shimodera S, Tochigi M, Ando S, Yamasaki S, Okazaki Y, Sasaki T	精神科
Br J Psychiatry	Author's reply to Sচিত্রা N. Patra.	Shimodera S	精神科
BMC Psychiatry	Cost-effectiveness of family psychoeducation to prevent relapse in major depression~Results from randomized	Shimodera S, Furukawa TA, Mino Y, Shimazu K, Nishida A, Inoue S	精神科
Schizophr Res	Mapping hypofrontality during letter fluency task in schizophrenia: A multi-channel near-	Shimodera S, Imai Y, Kamimura N, Morokuma I, Fujita H, Inoue S, Furukawa TA	精神科
Asia-Pac Psychiatry	Near-infrared spectroscopy (NIRS) of bipolar disorder may be distinct from that of unipolar depression and of healthy controls.	Shimodera S, Imai Y, Kamimura N, Morokuma I, Fujita H, Inoue S, Furukawa TA	精神科
Trials	The first 100 patients in the SUN(^_^)D trial (Strategic use of new generation antidepressants for depression) : Examination of feasibility and adherence during the	Shimodera S, Kato T, Sato H, Miki K, Shinagawa Y, Kondo M, Fujita H, Morokuma I, Ikeda I, Akechi T, Watanabe N, Yamada M, Inagaki M, Yonemoto N, Furukawa TA	精神科
Compr Psychiat	Physical pain associated with depression; results of a survey in Japanese patients and physicians.	Shimodera S, Kawamura A, Furukawa TA	精神科
OJPsych	Bipolar I disorder and expressed emotion of families; a cohort study in Japan.	Shimodera S, Yonekura Y, Yamaguchi S, Kawamura A, Mizuno M, Inoue S, Furukawa TA, Mino Y	精神科

Eur Child Adolesc Psych	Season of birth effect on psychotic-like experiences in Japanese	Tochigi M, Nishida A, Shimodera S, Okazaki Y, Sasaki T	精神科
PLoS ONE	Irregular bedtime and nocturnal cellular phone usage as risk factors for being involved in bullying; Across-sectional survey of Japanese	Tochigi M, Nishida A, Shimodera S, Oshima N, Inoue K, Okazaki Y, Sasaki T	精神科
Suicide Life Threat Behav	Deliberate self-harm in adolescents aged 12 to 18 ~ a cross-sectional survey of 18,104	Watanabe N & Nishida A, Shimodera S, Inoue K, Oshima N, Sasaki T, Inoue S, Akechi T, Furukawa TA, Okazaki Y	精神科
Neuropsychiatr Dis Treat	Help seeking behaviors among Japanese school students who self-harm: results from a self-report with	Watanabe N, Nishida A, Shimodera S, Inoue K, Oshima N, Sasaki T, Inoue S, Akechi T, Furukawa TA, Okazaki Y	精神科
Geriat. Med	認知症の自動車運転をどう考えるかー背景疾患別の運転行動の特徴と運転中断についてー高齢者の運転をめぐる	上村直人、福島章恵、今城由里子、諸隈陽子、下寺信次	精神科
日本医師会雑誌	認知症者の自動車運転特集 認知症UPDATE	上村直人	精神科
精神科	初老期アルツハイマー病患者への診断告知を行った1例	上村直人、井上新平	精神科
精神科	認知症性疾患における未治療期間 (DUP) 概念の適応	上村直人、福島章恵	精神科
Progress in Medicine	認知症と自動車運転ー医療からみた認知症患者の運転研究の現状と	上村直人、福島章恵、今城由里子、下寺信次	精神科
CAMPUS HEALTH	医師・看護師養成プロセスにおける精神健康度調査～自殺予防プログラムの構築に向けて	渋谷恵子、奥谷文乃、武内世生、瀬尾宏美、下寺信次、井上新平	精神科
第108回日本精神神経学会学術総会 特集号、電子版	我が国における統合失調症早期介入の現状	下寺信次、井上新平、藤田博一、須賀楓介	精神科
臨床精神医学	特集 認知/行動療法の技法と治療効果 認知・行動療法と家族療法の併用と治療効果	藤田博一、下寺信次	精神科
BMC Psychiatry	A greater number of somatic pain sites is associated with poor mental health in adolescents: a cross-sectional study.	Ando S, Yamasaki S, Shimodera S, Sasaki T, Oshima N, Furukawa TA, Asukai N, Kasai K, Mino Y, Inoue S, Okazaki Y, Nishida A	精神科
Seishin shinkeigaku Zasshi	[Early intervention in an early psychosis outpatient	Shimodera S, Inoue S, Fujita H, Suga Y, Ichiki M	精神科
Eur Child Adolesc Psych	Season of birth effect on psychotic-like experiences in Japanese	Tochigi M, Nishida A, Shimodera S, Okazaki Y, Sasaki T	精神科

Neuromolecular Med	DNA methylation signatures of peripheral leukocytes in schizophrenia.	Kinoshita M, Numata S, Tajima A, Shimodera S, Ono S, Imamura A, Iga J, Watanabe S, Kikuchi K, Kubo H, Nakataki M, Sumitani S, Imoto	精神科
DEMENTIA JAPAN	医療現場からみた認知症高齢者の運転と事故 - 地方都市から見た認知症高齢者の自動車運転の現状と課題	上村直人、福島章恵、今城由里子	精神科
日本皮膚科学会雑誌 122:1725-1740, 2012	日本皮膚科学会ガイドライン 尋常性白斑診療ガイドライン(解説)	鈴木 民夫(山形大学 医学部皮膚科), 金田 眞理, 種村 篤, 谷岡 未樹, 藤本 智子, 深井 和吉, 大磯 直毅, 川上 民裕, 塚本 克彦, 山口 裕史, 佐野 栄紀, 三橋 善比古, 錦織 千佳子, 森田 明理, 中川 秀巳, 瀧口 昌子, 片山 一朗	皮膚科学
西日本皮膚科 74:165-169, 2012	同時期に経験した日本紅斑熱とツツガムシ病の各1例(原著論文)	高田智也, 樽谷勝仁, 佐野栄紀	皮膚科学
日本皮膚科学会雑誌 122:3274-3276, 2012	表皮脂質とバリア	中島喜美子	皮膚科学
医学のあゆみ 242:799-804, 2012	皮膚免疫学-免疫臓器としての意義と病態 乾癬の発症機序にかかわる皮膚免疫	佐野栄紀	皮膚科学
皮膚の科学 11:165-169, 2012	非イオン性ヨード造影剤イオヘキソールによる急性汎発性発疹性膿疱症の1例	喜多川千恵, 山本真有子, 佐野栄紀	皮膚科学
日本皮膚科学会雑誌 122:3674-3677, 2012	難治部位-爪乾癬に対するエキシマライト治	横川真紀, 佐野栄紀	皮膚科学
皮膚病診療 34:667-670, 2012	頭部の膿疱が遷延した amicrobial	藤岡愛, 佐野栄紀	皮膚科学
西日本皮膚科 74:289-292, 2012	当教室におけるターゲット型エキシマランプによる円形脱毛症の	高橋綾, 横川真紀, 樽谷勝仁, 佐野栄紀	皮膚科学
皮膚病診療 34:655-658, 2012	爪囲炎から進展した <i>Mycobacterium marinum</i> による右手背	山本真有子, 横川真紀, 佐野栄紀, 谷脇祥通	皮膚科学
皮膚病診療 34:241-244, 2012	タクロリムス外用による酒さ様皮膚炎(原著論文/症例報告/特集)	喜多川千恵, 中島英貴, 横川真紀, 樽谷勝仁, 佐野栄紀	皮膚科学
皮膚の科学 11:202-208, 2012	小児に生じた顕微鏡的多発血管炎の1例	山田陽三, 喜多川千恵, 神岡一郎, 陳科栄	皮膚科学
加齢皮膚医学セミナー 7:47-51, 2012	紫外線誘発性皮膚癌におけるイミキモドの抗腫瘍作用; モデルマウスを用いた解析(続)	横川真紀, 志賀建夫, 中島喜美子, 高石樹朗, 樽谷勝仁, 佐野栄紀	皮膚科学
加齢皮膚医学セミナー 7:53-57, 2012	紫外線発癌におけるタクロリムス軟膏の影響	志賀建夫, 川村巧成, 上島玲子, 横川真紀, 樽谷勝仁, 佐野栄紀	皮膚科学
西日本皮膚科 74:185-188, 2012	ざ瘡瘰癧に対するフラクショナルレーザー (Fraxel IITM) 治療の有用性の検討(原著論	石黒麻友子, 森澤有希, 松田和美, 横川真紀, 佐野栄紀	皮膚科学

MD Derma 187:17-24, 2012	最新のシクロスポリン療法	樽谷勝仁	皮膚科学
日皮会誌 122:2091-2096, 2012	抗ヒトTNF- α モノクローナル抗体製剤(インフリキシマブ)により皮下腫瘍の増大抑制効果が得られたErdheim-Chester病の1例	喜多川千恵, 中島英貴, 樽谷勝仁, 佐野栄紀	皮膚科学
西日本皮膚科 74:22-26, 2012	クリオグロブリン血症性紫斑から濾胞性リンパ腫の診断に至った1例(原著論文/症例報)	寺石美香, 三好研, 佐野栄紀, 池田光徳, 大畑雅典	皮膚科学
西日本皮膚科 74:623-636, 2012	急性骨髄性白血病の化学療法中に生じた播種性 <i>Fusarium</i> 感染症の1例	工藤朋子, 佐野栄紀	皮膚科学
創傷のすべて 207-208, 2012	基底細胞癌	中島英貴	皮膚科学
臨床免疫・アレルギー科 58:25-32, 2012	乾癬の発症におけるIL-17とIL-23の役割	佐野栄紀	皮膚科学
皮膚科臨床アセット10 44-49, 2012	乾癬の動物モデル(遺伝子改変マウス)	佐野栄紀	皮膚科学
日本脊椎関節炎学会 4:7-12, 2012	乾癬・関節症性乾癬の病態と治療	佐野栄紀	皮膚科学
日本臨床(分子標的薬がんから他疾患までの治癒をめざして) 70:550-554, 2012	乾癬	佐野栄紀	皮膚科学
西日本皮膚科 74:484-487, 2012	胃癌治療後に改善を認めたBazex症候群様皮疹を伴った丘疹紅皮症の1例	喜多川千恵, 志賀建夫, 中島英貴, 中島喜美子, 池田光徳, 佐野栄紀	皮膚科学
Visual Dermatology 11:544-548, 2012	アダリムマブが奏効した関節炎を伴う汎発性膿疱性乾癬(原著論文)	中島英貴, 志賀建夫, 高田智也, 樽谷勝仁, 佐野栄紀	皮膚科学
Journal of Dermatological Science 68:112-115, 2012	Topical tacrolimus treatment does not facilitate photocarcinogenesis in cancer-prone mice	Takeo Shiga, Maki Yokogawa, Kimiko Nakajima, Chie Kitagawa, Masahito Tarutani, Naoko Kumagai, Sano S	皮膚科学
Arch Dermatol Res. 304:81-84, 2012	The role of pigment epithelium-derived factor as an adipokine in	Nakajima H, Nakajima K, Tarutani M, Sano S.	皮膚科学
Int J Cardiol. 154:203-204, 2012	Systemic inflammation impairs cardiac glucose uptake.	Kakinuma Y, Okada S, Nogami M, Sano S, Kumon Y.	皮膚科学
Journal of Dermatological Science 66:165-168, 2012	Sebaceous glands as the primary target of EGFR-inhibitors in the development of papulopustular	Takata T, Tarutani M, Sano S	皮膚科学
Clin Dev Immunol. Volume 2012, Article ID 14162, 4pages	Recent Advances in Dermatitis Herpetiformis	Nakajima K	皮膚科学
Journal of Dermatological Science 67:207-209, 2012	Positive link between STAT3 activation and Th17 Cell infiltration to the lesional skin in	Tanemura A, Kotobuki Y, Itoi S, Takata T, Sano S, Katayama I	皮膚科学

日本小児皮膚科学会雑誌 31:45-48, 2012	NB-UVB療法が奏功した 毛孔性紅色皰癬疹の小 児例	沖野倫子, 喜多川千 恵, 中島英貴, 横川真 紀, 樽谷勝仁, 佐野栄	皮膚科学
Molecular Carcinogenesis 2012 Mar 16. doi: 10.1002/mc.21901. [Epub ahead of print]	Imiquimod attenuates the growth of UVB- induced SCC in mice through Th1/Th17 cells.	Yokogawa M, Takaishi M, Nakajima K, Kamijima R, Digiovanni J, Sano S.	皮膚科学
Plos One 7(11): e49519. Published online 2012 November 15. doi: 10.1371/journal.pone.0049519	Imaging mass spectrometry visualize ceramides and the pathogenesis of Dorfman-Chanarin syndrome due to ceramide metabolic abnormality in skin.	Naoko Goto-Inoue, Takahiro Hayasaka , Nobuhiro Zaima, Kimiko Nakajima, Walter M. Holleran, Shigetoshi Sano, Yoshikazu Uchida, Mitsutoshi Setou	皮膚科学
Ann Nucl Med. 2013 Feb;27(2):105-11. doi: 10.1007/s12149-012-0668-2. Epub 2012 Nov 29.	Imaging assessment of enthesitis in spondyloarthritis.	Taniguchi Y, Kumon Y, Takata T, Sano S, Ohnishi T, Nogami M, Ogawa Y, Terada Y.	皮膚科学
細胞工学 31:802-806, 2012	IL-36ファミリーと乾 癬:自然免疫および IL-23/Th17 axisとの新たなリンク	佐野栄紀	皮膚科学
Journal of Investigative Dermatology 132:2019-2025, 2012	GPHR-Dependent Functions of the Golgi Apparatus Are Essential for the Formation of Lamellar Granules and the Skin	Tarutani M, Nakajima K, Uchida Y, Takaishi M, Goto-Inoue N, Ikawa M, Setou M, Kinoshita T, Elias P, Sano S, Maeda Y	皮膚科学
International Journal of Dermatology	Desmoglein 1 expression on lung carcinoma cells in a patient with pemphigus foliaceus	Takata T, Kume M, Tarutani M, Sano S	皮膚科学
The Journal of Dermatology 39:219-224, 2012	Critical role of the interleukin-23/T- helper17 cell axis in the pathogenesis of psoriasis	Nakajima K	皮膚科学
Clin Exp Dermatol. 38:66-70, 2012	Clear association between serum levels of adipokines and T- helper 17-related cytokines in patients with	Nakajima H, Nakajima K, Tarutani M, Sano S.	皮膚科学
Dermatology Practical and Conceptual 2:31-33, 2012	Blue nevus with a starburst pattern on dermoscopy	Shiga T, Nakajima K, Tarutani M, Izumi M, Tanaka M and Sano S	皮膚科学
Journal of Dermatological Science 65:68-76, 2012	Attenuation of psoriasis-like skin lesion in a mouse model by topical treatment with indirubin and its derivative E804	Miyoshi K, Takaishi M, DiGiovanni J, Sano S	皮膚科学

J Allergy Clin Immunol 130:671-682, 2012	Artemin causes hypersensitivity to warm sensation, mimicking warmth-provoked pruritus in atopic dermatitis	Hiroyuki Murota, Mayuko Izumi, Mostafa I. A. Abd El-Latif, Megumi Nishioka, Mika Terao, Mamori Tani, Saki Matsui, Shigetoshi Sano. and	皮膚科学
Ann Allergy Asthma Immunol. 108:117-122. e2, 2012	Anti-inflammatory effects of sacran, a novel polysaccharide from Aphanothece sacrum, on 2,4,6-trinitrochlorobenzene-induced allergic dermatitis in vivo.	Ngatu NR, Okajima MK, Yokogawa M, Hirota R, Eitoku M, Muzembo BA, Dumavibhat N, Takaishi M, Sano S, Kaneko T, Tanaka T, Nakamura H, Suganuma N.	皮膚科学
Allergol Int. 61:597-607, 2012	Anti-Allergic Effects of Vernonia amygdalina Leaf Extracts in Hapten-Induced Atopic Dermatitis-Like Disease in Mice.	Ngatu NR, Okajima MK, Yokogawa M, Hirota R, Takaishi M, Eitoku M, Muzembo BA, Sabah AB, Saruta T, Miyamura M, Kaneko T, Sano S, Suganuma N.	皮膚科学
アレルギー・免疫 19:82-88, 2012	【成人に対する生物学的製剤と免疫抑制薬】リウマチ領域 生物学的製剤 乾癬(解説/特	佐野栄紀	皮膚科学
日皮会誌 122:2091-2096, 2012	進化する皮膚科学:研究の進展 乾癬のシグナル伝達機構	樽谷勝仁	皮膚科学
臨床腫瘍プラクティス 8:178-182, 2012	手足症候群に対して	高田智也	皮膚科学
Oncol Lett. 2012、3:990-994.	Correlation of liver parenchymal gadolinium-ethoxybenzyl diethylenetriaminepentaacetic acid enhancement and liver function in humans with hepatocellular	久保田 敬	放射線科
Am J Surg 204(2):203-209	Impact of jejunal pouch interposition reconstruction after proximal gastrectomy for early gastric cancer on quality of life: short- and long-term	Namikawa T, Oki T, Kitagawa H, Okabayashi T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
Arch Surg 147(11):991-99	Effective perioperative management of multiple endocrine neoplasia type 1-associated	Hanazaki K, Sakurai A, Munekage M, Okabayashi T, Imamura M	外科1
Artificial Organs (in press)	Evaluation of a novel artificial pancreas: closed loop glycemic control system with continuous blood glucose monitoring	Tsukamoto Y, Kinoshita Y, Kitagawa H, Munekage M, Munekage E, Takezaki Y, Yatabe T, Yamashita K, Yamazaki R, Okabayashi T, Tarumi M, Kobayashi	外科1

Biomed Mater Eng (in press)	Perioperative glycemic control using an artificial endocrine pancreas in patients undergoing total pancreatectomy: tight glycemic control may be justified in order	Hanazaki K, Yatabe T, Kobayashi M, Tsukamoto Y, Kinoshita Y, Munekage M, Kitagawa H	外科1
Clin Gastroenterol Hepatol. 2012 Oct 15. [Epub ahead of print]	Early neuroendocrine carcinoma of the stomach	Namikawa T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
Digest Dis Sci. 2012 Nov 29. [Epub ahead of print]	Double tract reconstruction after gastrectomy facilitates endoscopic access to the biliary tree	Namikawa T, Munekage E, Kitagawa H, Okabayashi T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
Int J Cancer 130(4):959-966	Long-term exposure of gastrointestinal stromal tumor cells to sunitinib induces epigenetic silencing of the PTEN gene	Yang J, Ikezoe T, Nishioka C, Takezaki Y, Hanazaki K, Taguchi T, Yokoyama A	血液・呼吸器内科学
J Artif Organs 15(1):71-76	Blood glucose control using an artificial pancreas reduces the workload	Mibu K, Yatabe T, Hanazaki K	ICU
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2012 Jul 19. [Epub ahead of print]	Ischemic preconditioning may reduce hyperglycemia associated with intermittent Pringle maneuver in hepatic resection	Hanazaki K, Munekage M, Ichikawa K, Okabayashi T	外科1
Med Mol Morphol 45(4):229-233	PKIB expression strongly correlated with phosphorylated Akt expression in the breast cancers and also with triple negative breast cancers subtype	Dabanaka K, Chung S, Nakagawa H, Nakamura Y, Okabayashi T, Sugimoto T, Hanazaki K, Furihata M	外科1
Med Mol Morphol (in press)	Neuroendocrine carcinoma of the stomach: clinicopathological and immunohistochemical evaluation	Namikawa T, Oki T, Kitagawa H, Okabayashi T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
Mol Biol Rep 39(12):10803-10810	Branched-chain amino acid-enriched nutrients stimulate antioxidant DNA repair in a rat model of liver injury induced by carbon tetrachloride	Ichikawa K, Okabayashi T, Shima Y, Iiyama T, Takezaki Y, Munekage M, Namikawa T, Sugimoto T, Kobayashi M, Mimura T, Hanazaki K	外科1

Oncology 82(3):147-152	Plasma diamine oxidase activity is a useful biomarker for evaluating gastrointestinal tract toxicities during chemotherapy with oral fluorouracil anti-cancer drugs in patients with	Namikawa T, Fukudome I, Kitagawa H, Okabayashi T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
Oncology Letters 4(4):631-636	Metastatic gastric tumors arising from renal cell carcinoma: Clinical characteristics and outcomes of this uncommon disease	Namikawa T, Munekage M, Kitagawa H, Okabayashi T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
Surg Today. 2012 Aug 14. [Epub ahead of print]	Oral supplementation of branched-chain amino acids reduces early recurrence after hepatic resection in patients with hepatocellular carcinoma: a	Ichikawa K, Okabayashi T, Maeda H, Namikawa T, Iiyama T, Sugimoto T, Kobayashi M, Mimura T, Hanazaki K	外科1
Surg Today. 2012 Oct 13. [Epub ahead of print]	Comparison of the perioperative outcome of esophagectomy by thoracoscopy in the prone position with that of thoracotomy in the lateral	Yatabe T, Kitagawa H, Yamashita K, Hanazaki K, Yokoyama M	麻醉科学・集中治療医学
Surg Today. 2012 Oct 19. [Epub ahead of print]	Surgery for a gastroenteropancreatic neuroendocrine tumor (GEPNET) in multiple endocrine neoplasia type 1	Hanazaki K, Sakurai A, Munekage M, Ichikawa K, Namikawa T, Okabayashi T, Imamura M	外科1
World J Gastroenterol 18(29):3787-3789	Tight glycemic control using an artificial endocrine pancreas may play an important role in preventing infection after pancreatic resection	Hanazaki K	外科1
World J Gastrointest Oncol 4(7):170-175	Is there diversity among UGT1A1 polymorphism in Japan?	Kobayashi M, Hazama S, Takahashi K, Oba K, Okayama N, Nishioka M, Hinoda Y, Oka M, Okamoto K, Maeda H, Nakamura D, Sakamoto I, Mishima H	医療管理学
World J Gastrointest Surg 4(5):131-134	Adult intussusception with cecal adenocarcinoma: successful treatment by laparoscopy assisted surgery following	Namikawa T, Okamoto K, Okabayashi T, Kumon M, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1

World J Surg 36(5):1122-1127	The effect of the neutrophil elastase inhibitor sivelestat on early injury after liver	Tsujii S, Okabayashi T, Shiga M, Takezaki Y, Sugimoto T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
小川道雄・諏訪邦夫・門脇孝監修、医学図書出版	臨床に役立つ最新血糖管理マニュアル	花崎和弘（編集）	外科1
臨床に役立つ最新血糖管理マニュアル、小川道雄・諏訪邦夫・門脇孝監修、花崎和弘編集、医学図書出版、pp89-95	II 外科領域 11 外科周術期の血糖管理の意義	花崎和弘、小川道雄	外科1
臨床に役立つ最新血糖管理マニュアル、小川道雄・諏訪邦夫・門脇孝監修、花崎和弘編集、医学図書出版、pp105-113	II 外科領域 13 肝臓外科手術の血糖管理	岡林雄大、花崎和弘	外科1
臨床に役立つ最新血糖管理マニュアル、小川道雄・諏訪邦夫・門脇孝監修、花崎和弘編集、医学図書出版、pp114-120	II 外科領域 14 膵臓外科手術の血糖管理	宗景匡哉、花崎和弘	外科1
臨床に役立つ最新血糖管理マニュアル、小川道雄・諏訪邦夫・門脇孝監修、花崎和弘編集、医学図書出版、pp121-125	II 外科領域 15 食道外科手術の血糖管理	北川博之、花崎和弘	外科1
臨床に役立つ最新血糖管理マニュアル、小川道雄・諏訪邦夫・門脇孝監修、花崎和弘編集、医学図書出版、pp163-169	II 外科領域 20 人工膵臓を用いた外科周術期血糖管理	花崎和弘、小川道雄	外科1
肝がん・肝硬変に対する栄養療法の新時代、市田隆文・平野克治監修・編集、アークメディア、pp69-	肝臓切除における分岐鎖アミノ酸顆粒製剤投与の意義	花崎和弘	外科1
先端医療に関するニーズ・開発戦略と使わなくなる薬剤・製品の予測 第1章：再生医療の開発動向と臨床で使わなくなる（であろう）薬剤・機器、技術情報協会、	第12節 肝臓再生医療実用化の手ごたえと、臨床研究・治療に与えるインパクト	岡林雄大、花崎和弘	外科1
Clin Calcium 22(8)8月:1235-1242	マグネシウム～生体調節・薬剤としての重要性～ 糖尿病におけるマグネシウム代謝異常とその治療意義	宗景絵里、竹崎由佳、花崎和弘	外科1
月刊糖尿病 4(1)1月:70-77	人工膵臓を用いた周術期の血糖正常化	市川賢吾、花崎和弘	外科1
手術（印刷中）	胃癌に対する幽門側胃切除術後Double tract	並川 努、花崎和弘	外科1
消化器外科 35(5)4月臨時増刊:806-807	IV 合併症を有する患者の術前・術後管理 4. 消化器系 肝硬	並川 努、花崎和弘	外科1
日本小児外科学会雑誌 48(7)12月:1007-1012	当科にて腸管ストーマ造設術を施行した極・超低出生体重児の検討	坂本浩一、野口啓幸、徳久琢也、石原千詠、前出喜信、山下達也、向井 基、松藤 凡、	外科1
臨床栄養 121(6)11月:714-716	人工膵臓を用いた周術期の血糖正常化	花崎和弘	外科1
Annals of Vascular Diseases	Acute type A aortic dissection: for further improvement of outcomes	Kazumasa Orihashi	外科（二）
胸部外科	画像診断Q&A.	西森秀明、渡橋和政	外科（二）
European Journal of Vascular and Endovascular Surgery	Indocyanine Green Angiography for Intra-operative Assessment in Vascular Surgery	M. Yamamoto, K. Orihashi, H. Nishimori, S. Wariishi, T. Fukutomi, N. Kondo, K. Kihara,	外科（二）

Thoracic Cancer	Comparison of epidermal growth factor receptor mutation analysis results between surgically resected primary lung cancer and metastatic lymph nodes obtained by endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration	Hironobu Okada, Takashi Anayama, Motohiko Kume, Kentaro Hirohashi, Ryouhei Miyazaki, Manabu Matsumoto, Kazumasa Orihashi	外科 (二)
Journal of Artificial Organs	Intraoperative continuous hemodiafiltration with selective venous drainage of ischemic limbs	Kondo N, Wariishi S, Nishimori H, Yamamoto M, Fukutomi T, Kihara K, Tashiro M, Kuriyama M, Orihashi K.	外科 (二)
日本心臓血管外科学会雑誌	CD-DST法を適用した下大静脈原発平滑筋肉腫の1例	近藤 庸夫, 西森 秀明, 福富 敬, 割石 精一郎, 山本 正樹, 木原 一樹, 田代 未	外科 (二)
日本呼吸器外科学会雑誌	術前の経食道心臓超音波検査(TEE)にて大動脈浸潤の有無を診断し得た1例	宮崎涼平, 廣橋健太郎, 岡田浩晋, 久米基彦, 渡橋和政	外科 (二)
Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery	Diagnosis and surgical management of the arterial myopericytoma.	Uchida Y, Kuriyama M, Yoshida Y, Yano A, Orihashi K.	外科 (二)
GEMSTAR® Reports, 2012;4: 2-4.	IV-PCA を用いた術後疼痛管理の取り組みとその意義	河野崇	麻酔科
呼吸器ケア 2012;10:359-362.	【呼吸管理とケアがわかる! 新人ナースのための呼吸器疾患ノート】誤嚥性肺炎,	山下幸一	麻酔科
呼吸器ケア 2012;10:359-362.	【まるごと&&ことん理解!ALI/ARDSの治療とケア】 全身管理では何が大事	山本佳子 長野修	麻酔科
PAIN RESEARCH 2012;27:227-31.	術後急性痛モデルラットを用いたモルヒネの鎮痛用量と嘔吐の関係	河野崇 横山正尚	麻酔科
Fitoterapia. 2012;83:402-7.	Effects of five oleanolic acid triterpenoid saponins from the rhizome of Anemone raddeana on stimulus-induced superoxide generation, phosphorylation of proteins and translocation of cytosolic compounds	Wei S, He W, Lu J, Wang Z, Yamashita K, Yokoyama M, Kodama H.	麻酔科

Phytother Res. 2012;26:168-73.	Inhibitory Effects of Secoiridoids from the Roots of <i>Gentiana straminea</i> on Stimulus-induced Superoxide Generation, Phosphorylation and Translocation of Cytosolic Compounds	Wei S, Chen G, He W, Chi H, Abe H, Yamashita K, Yokoyama M, Kodama H.	麻醉科
Surg Today. 2012 Oct 13. [Epub ahead of print]	Comparison of perioperative outcome for esophagectomy by thoracoscopy in the prone position with that for thoracotomy in the lateral	Yatabe T, Kitagawa H, Yamashita K, Hanazaki K, Yokoyama M.	麻醉科
Anesth Analg. 2012;115:62-9.	Biophysical and Pharmacological Properties of Glucagon-like peptide-1 in Rats under Isoflurane Anesthesia.	T Kawano, K Tanaka, H Chi, S Eguchi, F Yamazaki, S Kitamura, N Kumagai, M Yokoyama.	麻醉科
J Anesth Clin Res 2012;3:186.	Automating Blood Glucose Control.	Yatabe T, Hanazaki K, Yokoyama M.	麻醉科
J Anesth. 2012 Nov 7. [Epub ahead of print]	Influence of administration of 1 % glucose solution on neonatal blood glucose concentration in	Yatabe T, Tateiwa H, Ikenoue N, Kitamura S, Yamashita K, Yokoyama M.	麻醉科
Frontiers in Bioscience	Role of NK cells and HLA-G in endometriosis.	Nagamasu Maeda, Chiaki Izumiya, Kayo Taniguchi, Aachio Matsushima, Takao	産科婦人科
J Matern Fetal Neonatal Med.	Prophylactic administration of melatonin to mother throughout pregnancy can protect against oxidative cerebral damage in neonatal rats.	Watanabe K, Hamada F, Wakatsuki A, Nagai R, Shinohara K, Hayashi Y, Imamura R, Fukaya T	産科婦人科
J Clin Endocrinol Metab.	Remarkable cystic expansion of microprolactinoma causing diabetes insipidus during pregnancy.	Amano E, Nishiyama M, Iwasaki Y, Matsushima S, Oguri H, Fukuhara N, Nishioka H, Yamada S, Inoshita N, Fukaya T, Terada Y.	産科婦人科
Virology J.	Detection of Merkel cell polyomavirus in cervical squamous cell carcinomas and adenocarcinomas from Japanese	Imajoh M, Hashida Y, Nemoto Y, Oguri H, Maeda N, Furihata M, Fukaya T, Daibata M.	産科婦人科

Acta Med. Okayama	The Therapeutic Potential of Human Umbilical Cord Blood Transplantation for Neonatal Hypoxic-Ischemic Brain Injury and Ischemic Stroke	Feifei Wang, Nagamasa Maeda, Takao Yasuhara, Masahiro Kameda, Emi Tsuru, Tatsuyuki Yamashita, Yuan Shen, Masayuki Tsuda, Isao Date, and Yusuke Sagara	産科婦人科
臨床婦人科産科	オフィスギネコロジー-女性のプライマリ・ケア-【V章 婦人科疾患】 卵巣腫瘍	國見祐輔、前田長正、深谷孝夫	産科婦人科
現代産婦人科	子宮内容除去術後に絨毛組織遺残を認めた帝王切開瘢痕部妊娠の一例	渡邊理史、牛若昂志、都築たまみ、國見祐輔、松島幸生、山田るりこ、泉谷知明、池上信夫、前田長正、深谷	産科婦人科
日本女性医学学会雑誌	更年期障害の諸症状に対する加味逍遙散、ホルモン補充療法の効果比較-無作為割付研究の結果より-	樋口毅、飯野香理、柞木田礼子、阿部和弘、谷口綾亮、水沼英樹、三上泰徳、片桐清一、橋本哲司、蓮尾豊、松尾健志、藤盛嘉章、小川克弘、小野大志、高橋秀身、高松潔、櫻木範明、田中信一、吉村泰典、青木大輔、深谷孝夫、和氣徳夫、野崎雅裕、若槻明彦、袖谷	産科婦人科
産婦人科の実際	多嚢胞性卵巣症候群	渡邊理史、泉谷知明、深谷孝夫	産科婦人科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2012 Apr 11. [Epub ahead of print]	Local infusion analgesia using intra-articular double lumen catheter after total knee arthroplasty: a double blinded randomized control	Ikeuchi M, Kamimoto Y, Izumi M, Sugimura N, Takemura M, Fukunaga K, Yokoyama M, Tani T	整形外科
Spinal Cord. 2012 Apr;50(4):328-332.	Maximum voluntary ventilation as a sensitive measure to monitor the ventilatory function in cervical spondylotic myelopathy.	Nomura T, Tani T, Ikeuchi M, Akutagawa T, Enoki H, Ishida K	整形外科
J Orthop Sci. 2012 May;17(3):328-330.	A pilot feasibility study for immediate relief of referred knee pain by hip traction in hip osteoarthritis.	Nishigami T, Ikeuchi M, Okanou Y, Wakamatsu S, Matsuya A, Ishida K, Tani T, Ushida T	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg. 2012 Jun;132(6):891-895.	Nociceptive sensory innervation of the posterior cruciate ligament in osteoarthritic	Ikeuchi M, Q. Wang, Izumi M, Tani T	整形外科

J Orthop Surg. 2012 Aug;20(2):272-275.	Septic arthritis of the knee associated with calf abscess.	Izumi M, Ikeuchi M, Tani T	整形外科
J Orthop Sci. 2012 Sep;17(5):663-666.	Dangerous cervical radiculopathy by Lemierre's syndrome.	Ikemoto T, Kawasaki M, Kato T, Takemasa R, Ushida T, Tani T, Taniuchi K	整形外科
Knee. 2012 Oct;19(5):576-579.	Transcutaneous oxygen tension in the anterior skin of the knee after minimal incision total knee	Aso K, Ikeuchi M, Izumi M, Kato T, Tani T	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg. 2012 Nov;132(11):1603-1610.	Comparison of in-vivo bioactivity and compressive strength of a novel superporous hydroxyapatite with beta-tricalcium phosphates.	Okanoue Y, Ikeuchi M, Takemasa R, Tani T, Matsumoto T, Sakamoto M, Nakasu M	整形外科
Arch Phys Med Rehabil. 2013 Mar;94(3):467-473.	T-Reflex Studies in Human Upper Limb Muscles During Voluntary Contraction: Normative Data and Diagnostic Value for Cervical Radiculopathy.	Tetsunaga T, Tani T, Ikeuchi M, Ishida K, Kida K, Tadokoro N, Ichimiya M, Nakajima N, Tsuboya H, Taniguchi S	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2013 Jan 11. [Epub ahead of print]	Effects of dexamethasone on local infiltration analgesia in total knee arthroplasty: a randomized controlled trial.	Ikeuchi M, Kamimoto Y, Izumi M, Fukunaga K, Aso K, Sugimura N, Yokoyama M, Tani T	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2013 Feb 28. [Epub ahead of print]	The dorsal pedis artery as a new distal landmark for extramedullary tibial alignment in total knee arthroplasty.	Sugimura N, Ikeuchi M, Izumi M, Aso K, Ushida T, Tani T	整形外科
Mod Rheumatol. 2012 Nov;22(6):939-941.	Frequency of enthesitis in apparently healthy Japanese subjects detected by 18F FDG-PET/CT.	Taniguchi Y, Kumon Y, Ohnishi T, Nogami M, Tani T, Ogawa Y, Sugiura T, Terada Y	整形外科

J Spine Res. 2013 Feb;4(2):116-122.	Risk Factors for Development of Myelopathy in Patients with Asymptomatic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament.	Matsunaga S, Tsuji T, Toyama Y, Ijiri K, Komiya S, Numasawa T, Toh S, Ichimura S, Satomi K, Seichi A, Hoshino Y, Takeshita K, Nakamura K, Endo K, Yamamoto K, Kato Y, Kato T, Shinomiya K, Tokuhashi Y, Kawaguchi Y, Kimura T, Matsuyama Y, Ishiguro N, Neo M, Nakamura T, Fujimori T, Iwasaki M, Yoshikawa H, Taniguchi S, Tani T	整形外科
J Bone Miner Metab. 2013 Mar;31(2):136-143.	A genome-wide sib-pair linkage analysis of ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine.	Karasugi T, Nakajima M, Ikari K; Genetic Study Group of Investigation Committee on Ossification of the Spinal Ligaments, Tsuji T, Matsumoto M, Chiba K, Uchida K, Kawaguchi Y, Mizuta H, Ogata N, Iwasaki M, Maeda S, Numasawa T, Abumi K, Kato T, Ozawa H, Taguchi T, Kaito T, Neo M, Yamazaki M, Tadokoro N, Yoshida M, Nakahara S, Endo K, Imagama S, Demura S, Sato K, Seichi A, Ichimura S, Watanabe M, Watanabe K	整形外科
PLoS One, 7(8): e43340, 2012.	High expression of Nuclear Factor 90 (NF90) leads to mitochondrial degradation in skeletal and cardiac muscles.	Higuchi T, Sakamoto S, Kakinuma Y, Kai S, Yagyu K, Todaka H, Chi E, Okada S, Ujihara T, Morisawa K, Ono M, Sugiyama Y, Ishida W, Fukushima A, Tsuda M, Agata Y.	眼科
PLoS One, 7(10): e47742, 2012.	Pseudomonas aeruginosa keratitis in mice: effects of topical bacteriophage KPP12 administration.	Fukuda K, Ishida W, Uchiyama J, Rashel M, Kato S, Morita T, Muraoka A, Sumi T, Matsuzaki S, Daibata M, Fukushima A.	眼科
Br J Ophthalmol. 96(8): 1132-1136, 2012.	The murine CCR3 receptor regulates both eosinophilia and hyperresponsiveness in IgE-mediated	Fukuda K, Kuo CH, Morohoshi K, Liu FT, Ono SJ.	眼科

日眼会誌 116(5): 485-493, 2012	アレルギー性結膜疾患診断における自覚症状、他覚所見および涙液総IgE検査キットの有用性の検討	庄司純, 内尾英一, 海老原伸行, 大橋裕一, 大野重昭, 岡本茂樹, 熊谷直樹, 佐竹良之, 南場研一, 深川和己, 福島敦樹, 藤島浩, 高	眼科
日眼会誌 116(5): 494-502, 2012.	アレルギー性結膜疾患特異的quality of life調査票の確立	深川和己, 藤島浩, 福島敦樹, 角環, 岡本茂樹, 庄司純, 佐竹良之, 大野重昭, 南場研一, 北市伸義, 海老原伸行, 高橋浩, 熊谷直樹, 内野裕一, 内野美樹, 村山公一, 坂田実紀, 内尾英一, 高村悦子, 大橋裕一, 大久保公裕	眼科
臨眼 66(9): 1349-1352, 2012	鼻性視神経症を呈した多発性硬化症の1例	笠井真央, 多田憲太郎, 岸茂, 小森正博, 福島敦樹	眼科
臨眼 66(11): 370-374, 2012	【オキュラーサーフェス診療アップデート】基礎研究と臨床とのつながり アレルギー性結膜疾患重症化のメカ	福島敦樹	眼科
日臨皮会誌 29(6): 831-833, 2012	皮膚科診療に役立つ他科の知識【花粉症への取り組み】眼科領域のアプローチ	福島敦樹	眼科
Jpn J Ophthalmol, 57(1): 90-94, 2013.	Retinal pigment epithelium folds as a finding of Vogt-Koyanagi-Harada disease.	Kato Y, Yamamoto Y, Tabuchi H, Fukushima A.	眼科
Stem Cells Dev., 22(5): 726-734, 2013.	Two-step differentiation of mast cells from induced pluripotent stem cells.	Yamaguchi T, Tashiro K, Tanaka S, Katayama S, Ishida W, Fukuda K, Fukushima A, Araki R, Abe M, Mizuguchi H, Kawabata	眼科
Br J Ophthalmol, 97(4): 492-497, 2013.	Oral administration of Ag suppresses Ag-induced allergic conjunctivitis in mice: critical timing and dose of Ag.	Ishida W, Fukuda K, Harada Y, Sumi T, Taguchi O, Tsuda M, Yagita H, Fukushima A.	眼科
Clin Ophthalmol 7: 411-415, 2013.	Case of cytomegalovirus retinitis aggravated by sub-Tenon injection of triamcinolone acetonide with subsequent metastatic liver	Yamamoto Y, Kato Y, Tabuchi H, Fukushima A.	眼科
Med Mol Morphol, 2013. [E pub ahead of print]	Identification of keratocyte-like cells differentiated from circulating bone marrow-derived cells in the mouse cornea.	Harada Y, Ishida W, Fukuda K, Sumi T, Kawakita T, Taguchi O, Fukushima A.	眼科

アレルギーの臨床 33(3) : 206,	眼炎症疾患の現状	福島敦樹	眼科
アレルギーの臨床 33(3) : 207-210, 2013.	アレルギーが関与する眼疾患とは	福田 憲	眼科
アレルギーの臨床 33(3) : 221-224, 2013	感染に対するアレルギーの診断と治療	角 環	眼科
Auris Nasus Larynx 39(6); 593-596, 2012 Dec.	Resection of peripheral branches of the posterior nasal nerve compared to conventional posterior neurectomy in severe allergic	Taisuke Kobayashi, Masamitsu Hyodo, Koshiro Nakamura, Hayato Komobuchi, Nobumitsu Honda	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 39; 572-576, 2012.	Re-implanation of the Rion E-type semi-implantable hearing aid: Status of long-term use and hearing outcomes in eight patients.	Masahiro Komori, Naoaki Yanagihara, Yasuyuki Hinohira, Naohito Hato, Kiyofumi Gyo	耳鼻咽喉科
Otology & Neurotology 33; 1353-1356, 2012.	Position of TORP on the Stapes Footplate Assessed With Cone Beam Computed Tomography.	Masahiro Komori, Naoaki Yanagihara, Jun Hyodo, Shinya Miuchi	耳鼻咽喉科
J Voice 26(5); 668.e15-19, 2012.	Japanese Version of voice handicap index for subjective evaluation of voice disorder.	Taguchi A, Mise K, Nishikubo K, Hyodo M, Shiromoto O	耳鼻咽喉科
Oral Oncol 48(10);958-963, 2012.	One-step nucleic acid amplification for detecting lymph node metastasis of head and neck squamous cell	Goda H, Nakashiro K, Oka R, Tanaka H, Wakisaka H, Hato N, Hyodo M, Hamakawa H	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 40(1); 76-80, 2013.	Evaluation of "Open Essence" odor-identification test card by application to healthy	Okutani F, Hirose K, Kobayashi T, Kaba H, Hyodo M	耳鼻咽喉科
Eur Arch Otorhinolaryngol 270(3); 975-984, 2013.	Age-related changes in rat intrinsic laryngeal muscles: analysis of muscle fibers, muscle fiber proteins, and subneural	Nishida N, Taguchi A, Motoyoshi K, Hyodo M, Gyo K, Desaki J	耳鼻咽喉科
International Journal of Pediatric Otorhinolaryngology 77; 875-878, 2013.	Primary endobronchial Burkitt's lymphoma in a child: A case	Taisuke Kobayashi, Masamitsu Hyodo Nobumitsu Honda	耳鼻咽喉科
音声言語医学53(3) ; 167-170, 2012.	大学病院でめざす嚥下障害への対応	兵頭政光, 西窪加緒里, 弘瀬かほり, 岩村健司, 高橋朝妃, 中平	耳鼻咽喉科
日耳鼻115 ; 767-772, 2012.	嚥下障害の病態診断と治療.	兵頭政光	耳鼻咽喉科
Otol Jpn 22(3) ; 219-222, 2012	一側の小耳症ならびに外耳道閉鎖症とともに	小森正博	耳鼻咽喉科
MB ENT 139 ; 113-116, 2012.	喉頭疾患に対するステロイドの適応と効果的使用法 (特集・耳鼻咽喉科における抗ウイルス薬・ステロイドの効果的処方)	兵頭政光, 西窪加緒里	耳鼻咽喉科

嚙下医学 1(1) ; 13-14, 2012.	兵頭政光の術式 (嚙下手術 私術式) .	兵頭政光	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸 84(5) ; 105-108, 2012.	3. 嚙下障害 (IV. 音声・嚙下・睡眠の診療NAVI 特集 最新の診療NAVI-日常診療必	兵頭政光, 西窪加緒里	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸 84(7) ; 463-468, 2012.	嚙下障害 (特集 診療ガイドラインのエッセンスとその活用法) .	兵頭政光	耳鼻咽喉科
日耳鼻群馬県地方部会会報第30号 ; 7-9, 2012. 10.	嚙下障害の病態評価と治療-耳鼻咽喉科医の役割-	兵頭政光	耳鼻咽喉科
JOHNS 28(12) ; 1825-1827, 2012.	誤嚙のメカニズムをわかりやすく説明してくれますか? (特集 誤嚙と嚙下性肺炎 疑問に答える) .	兵頭政光	耳鼻咽喉科
EB ENT 150 ; 1-5, 2013.	嚙下障害治療における保存的治療の位置づけ (特集 嚙下障害の保存的治療) .	兵頭政光, 松本宗一	耳鼻咽喉科
診断と治療101 増刊号 主訴から診断へ-臨床現場の思考経路. 355-361, 2013. 3.	誤嚙・嚙下障害-嚙下時のむせや嚙下困難を訴える患者が来たら... (VIII. 頭頸部の訴	兵頭政光, 松本宗一	耳鼻咽喉科
喉頭24 ; 128-130, 2012.	披裂部余剰粘膜切除が奏功した成人発症の披裂部型喉頭軟弱症例.	兵頭政光, 西窪加緒里, 伊藤広明	耳鼻咽喉科
Facial N Res Jan 32 ; 116-118, 2012.	顔面神経管のコーンビーム3D-CT画像 ; 胎生期から成人まで.	小森正博, 森山浩志, 島田和幸, 平海晴一, 兵頭政光, 柳原尚明	耳鼻咽喉科
Otology Japan 23(1) ; 13-18, 2013.	内視鏡下摘出術を行った先天性真珠腫の検	小林泰輔	耳鼻咽喉科
小児耳 34(1) ; 61-68, 2013.	乳幼児深頸部膿瘍の3例.	長尾明日香, 小森正博, 池永弘之, 西窪加緒里, 弘瀬かほり, 兵	耳鼻咽喉科
Journal of Neurochemisry	Mitochondrial dysfunction is involved in P2X7 receptor-mediated neuronal cell death	Nishida K, Nakatani T, Ohishi A, Higashi Y, Matyuo T, Fujimoto S, Nagasawa K	脳神経外科
Microbiol Immunol	Regulatory effects of Spiorulina complex polysaccharides on growth of murine RSV-M glioma cells	Kawanishi Y, Tominaga A, Okuyama H, Fukuoka S, Taguchi T, Kusumoto Y, Yawata T, Fujimoto Y, Shimizu K	脳神経外科
Acta Neurochir(Wien). 2013	Evaluation of two- and three-dimensional visualization for endoscopic endonasal surgery using a novel steoendoscopic system in a novice:a	Kawanishi Y, Fujimoto Y, Kumagaai N, Takemura M, Nonaka M, Nakai E, Masahira N, Nakajo T, Shimizu K	脳神経外科
Geriatric Neurosurgery Vol. 25, 2013	高齢者悪性グリオーマに対する治療成績と今後の展望-新規WT1ワクチンの有効性について-	川西 裕, 藤本 康倫, 竹村 光広, 野中大伸, 中居 永一, 政平 訓貴, 中城 登仁, 宇高 恵子, 清水 恵司, 上羽 哲也	脳神経外科

Nihon Hinyokika Gakkai Zasshi. 2012 May;103(3):552-6.	The current clinical status of kidney cancers in patients with the VHL disease in Japan: a nationwide	Shuin T, Shinohara N, Yao M, Yamasaki I, Tamura K, Kamada M.	泌尿器科
Nihon Hinyokika Gakkai Zasshi. 2012 May;103(3):557-61.	Clinical status of Von Hippel-Lindau disease associated pheochromocytoma in Japan: a national epidemiologic survey	Shuin T, Yao M, Shinohara N, Yamasaki I, Tamura K.	泌尿器科
Med Mol Morphol. 2012 Jun;45(3):115-23. Epub 2012 Sep 22.	Overexpression of p53 protein in human tumors.	Inoue K, Kurabayashi A, Shuin T, Ohtsuki Y, Furihata M.	泌尿器科
Int J Urol. 2013 Feb 4.	Expression of angiogenesis-related gene profiles and development of resistance to tyrosine-kinase inhibitor in advanced renal cell carcinoma: Characterization of sorafenib-resistant cells derived from a	Karashima T, Fukuhara H, Tamura K, Ashida S, Kamada M, Inoue K, Taguchi T, Kuroda N, Shuin T.	泌尿器科
歯科技工 40:160-178, 2012	高機能性ハイブリッド型硬質レジンの新しい可能性と臨床応用～セラミックス・クラスター・フィラーによる性能向上の効果～前編 新規開発ハイブリッド型硬質レジン「ツイニー」の物性および生物学的安全性	加藤喬大, 松浦理太郎, 安楽照男, 山本哲也	歯科口腔外科
歯科技工 40:284-301, 2012	高機能性ハイブリッド型硬質レジン of 新し可能性と臨床応用～セラミックス・クラスター・フィラーによる性能向上の効果～後篇 ジャケット冠およびインプラント上部構造制作のケーススタ	本山禎朗, 岡本哲郎, 山本哲也	歯科口腔外科
診療と新薬 49:162-168, 2012	ピロカルピン塩酸塩の口腔乾燥症に対する臨床的効果の検討	山田朋弘, 笹部衣里, 吉村友秀, 北村直也, 大野清二, 李康広, 山	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌 58:232-236, 2012.	舌に生じた紡錘細胞脂肪腫の1例	森下慶子, 大野清二, 吉村友秀, 山田朋弘, 山本哲也	歯科口腔外科
日本口腔科学会雑誌 61:233-236, 2012	歯槽粘膜に生じた血管内乳頭状内皮過形成の1例	吉村友秀, 大野清二, 北村直也, 笹部衣里, 山田朋弘, 山本哲也	歯科口腔外科
Orthodontic Waves-Japanese Edition	上顎前歯部の過剰歯に関する臨床統計的検討	佐竹秀太, 山本哲也	歯科口腔外科

Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 113:464-471, 2012	Correlation of metabolism/hypoxia markers and fluorodeoxyglucose uptake in oral squamous cell carcinomas.	Tomohiro Yamada, Moritoshi Uchida, Kang Kwang-Lee, Naoya Kitamura, Tomohide Yoshimura, Eri Sasabe, Tetsuya Yamamoto	歯科口腔外科
International Journal of Oral Science 4:170-173, 2012	Low-grade myofibroblastic sarcoma of the palate.	Tomohiro Yamada, Tomohide Yoshimura, Naoya Kitamura, Eri Sasabe, Seiji Ohno, Tetsuya Yamamoto	歯科口腔外科
Microbiol Immunol 56:262-272, 2012	Superoxide dismutase activity of Helicobacter pylori per se from 158 clinical isolates and the characteristics.	Keiko Morishita, Hiroaki Takeuchi, Norihito Morimoto, Tomoko Shimamura, Yoshu Kadota, Masayuki Tsuda, Taketoshi Taniguchi, Hiroyuki Ukeda, Tetsuya Yamamoto.	歯科口腔外科
Autoimmunity 45:540-546, 2012	Epigallocatechin-3-gallate modulates antioxidant and DNA repair-related proteins in exocrine glands of a primary Sjogren's syndrome mouse model prior to disease onset.	Seiji Ohno, Hongfang Yu, Douglas Dickinson, Tin-Chun Chu, Kalu Ogbureke, Scott Derossi, Tetsuya Yamamoto, Stephen Hsu,	歯科口腔外科
World J Gastrointest Oncol	Is there diversity among UGT1A1 polymorphism in Japan?	Michiya Kobayashi, Shoichi Hazama, Kenichi Takahashi, Koji Oba, Naoko Okayama, Mitsuaki Nishioka, Yuji Hinoda, Masaaki Oka, Ken Okamoto, Hiromichi Maeda, Daisuke Nakamura, Junichi	がん治療センター
Gastric Cancer	A randomized phase-II trial comparing sequential and concurrent paclitaxel with oral or parenteral fluorinated pyrimidines for advanced or metastatic gastric cancer	Kazuhiro Nishikawa, Satoshi Morita, Takanori Matsui, Michiya Kobayashi, Yoji Takeuchi, Ikuo Takahashi, Seiji Sato, Yumi Yamashita, Akira Tsuburaya, Junichi Sakamoto, Yoshihiro Kakeji, Hideo Baba	がん治療センター

BMC Cancer	A randomized phase II trial to elucidate the efficacy of capecitabine plus cisplatin (XP) and S-1 plus cisplatin (SP) as a first-line treatment for advanced gastric cancer: XP ascertainment vs. SP	Tsuburaya A, Morita S, Kodera Y, Kobayashi M, Shitara K, Yamaguchi K, Yoshikawa T, Yoshida K, Yoshino S, Sakamoto J.	がん治療センター
Journal of Gastroenterology and Hepatology	Indocyanine green injection for detecting sentinel nodes using color fluorescence camera in the laparoscopy-assisted gastrectomy	Masashi Yoshida, Keisuke Kubota, Junko Kuroda, Keiichiro Ohta, Tetsuya Nakamura, Junichi Saito, Michiya Kobayashi, Takayuki Sato, Yoshifumi Beck, Yuko Kitagawa	がん治療センター
呼吸器ケア 2012;10(9):920-924	特集: ALI/ARDSの治療とケア: 全身管理では何が重要か.	山本佳子, 長野修	災害・救急医療学
人工呼吸 2012;29(2):186-192	成人ARDSに対するHFOV導入基準と初期設定.	長野修, 平山敬浩, 芝直基, 寺戸通久, 池上徹則, 朴範子, 佐藤圭路, 市場晋吾	災害・救急医療学
日本救急医学会雑誌 2012;23(5):199-204	ビタミンC投与が腎障害に関与した可能性が考えられた広範囲熱傷	長野修, 多田圭太郎, 芝直基, 平山敬浩, 黒田浩光, 寺戸通久, 氏家良人	災害・救急医療学
Eur Biophys J. 2012;41(6):571-8.	Blood oxygenation using microbubble suspensions.	Matsuki N, Ichiba S, Ishikawa T, Nagano O, Takeda M, Ujike Y, Yamaguchi T.	災害・救急医療学
Acta Medica Okayama. 2012;66(4):335-341.	Humidification of base flow gas during adult high-frequency oscillatory ventilation: an experimental study using lung model.	Shiba N, Nagano O, Hirayama T, Ichiba S, Ujike Y	災害・救急医療学
J Cardiovasc Pharmacol. 59:563-9	Effect of Pioglitazone on Arterial Baroreflex Sensitivity and Sympathetic Nerve Activity in Patients with Acute Myocardial	Yokoe H, Yuasa F, Yuyama R, Murakawa K, Miyasaka Y, Yoshida S, Tsujimoto S, Sugiura T, Iwasaka T.	検査部
Mod Rheumatol. 22:939-41	Frequency of enthesitis in apparently healthy Japanese subjects detected by (18)F FDG-PET/CT.	Taniguchi Y, Kumon Y, Ohnishi T, Nogami M, Tani T, Ogawa Y, Sugiura T, Terada Y.	検査部

International Journal of General Medicine. 5:753-8	Metabolic effect of combined telmisartan and nifedipine CR therapy in patients with essential hypertension.	Shimizu Y, Yamasaki F, Furuno T, Kubo T, Sato T, Doi Y, Sugiura T.	検査部
Reprinted from International Heart Journal. 53:287-92.	Usefulness of high-sensitive cardiac troponin T for evaluating the activity of cardiac sarcoidosis.	Baba Y, Kubo T, Kitaoka H, Okawa M, Yamanaka S, Kawada Y, Yamasaki N, Matsumura Y, Furuno T, Sugiura T, Doi YL	検査部
Microbiology and Immunology. 56:262-72	Superoxide dismutase activity of Helicobacter pylori per se from 158 clinical isolates and the	Morishita K, Takeuchi H, Morimoto N, Shimamura T, Kadota Y, Tsuda M, Taniguchi T, Ukeda H, Yamamoto T, Sugiura T.	検査部
Clin Exp Nephrol. 16:722-9	Serum levels of soluble secreted α -Klotho are decreased in the early stages of chronic kidney disease, making it a probable novel biomarker for early diagnosis.	Shimamura Y, Hamada K, Inoue K, Ogata K, Ishihara M, Kagawa T, Inoue M, Fujimoto S, Ikebe M, Yuasa K, Yamanaka S, Sugiura T, Terada Y.	検査部
J Cardiol 59:209-14	Serum tenascin-C levels as a prognostic biomarker of heart failure Serum tenascin-C levels as a prognostic biomarker of heart failure events in patients with hypertrophic	Kitaoka H, Kubo T, Baba Y, Yamasaki N, Matsumura Y, Furuno T, Doi YL.	検査部
Int Heart J 53:287-292	Usefulness of high-sensitive cardiac troponin T for evaluating the activity of cardiac sarcoidosis.	Baba Y, Kubo T, Kitaoka H, Okawa M, Yamanaka S, Kawada Y, Yamasaki N, Matsumura Y, Furuno T, Sugiura T, Doi YL.	検査部
J Cardiovasc Pharmacol. 60:310-4.	Influences of donepezil on cardiovascular system--possible therapeutic benefits for heart failure--donepezil cardiac test registry	Kubo T, Sato T, Noguchi T, Kitaoka H, Yamasaki F, Kamimura N, Shimodera S, Iiyama T, Kumagai N, Kakinuma Y, Diedrich A, Jordan J, Robertson D, Doi YL.	検査部
Int J Gen Med. 5:753-8	Metabolic effect of combined telmisartan and nifedipine CR therapy in patients with essential	Shimizu Y, Yamasaki F, Furuno T, Kubo T, Sato T, Doi Y, Sugiura T.	検査部
J Virol. 86:11400-1	Complete genome sequences of two Helicobacter pylori bacteriophages isolated from	Uchiyama J, Takeuchi H, Kato S, Takemura-Uchiyama I, Ujihara T, Daibata M, Matsuzaki S	検査部

J Am Geriatr Soc. 61:169-70	Giant left atrial myxoma in a nonagenarian.	Matsumura Y, Nakashima Y, Noguchi T, Baba Y, Wada M, Hayashi K, Kubo T, Yamasaki N, Furuno T, Kitaoka H, Orihashi	検査部
Am J Cardiol 111: 106-110	Left Ventricular Reverse Remodeling in Long-Term (> 12 Years) Survivors with Idiopathic Dilated	Matsumura Y, Hoshikawa-Nagai E, Kubo T, Yamasaki N, Furuno T, Kitaoka H, Takata J, Sugiura T, Doi Y.	検査部
J Hematol Oncol. 1;5:25.	Novel human polyomaviruses, Merkel cell polyomavirus and human polyomavirus 9, in Japanese chronic lymphocytic	Imajoh M, Hashida Y, Taniguchi A, Kamioka M, Daibata M.	検査部
Br J Cancer. 19;108:629-37	Detection of Merkel cell polyomavirus with a tumour-specific signature in non-small cell	Hashida Y, Imajoh M, Nemoto Y, Kamioka M, Taniguchi A, Taguchi T, Kume M, Orihashi K, Daibata M	検査部
論文件数合計			280件

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 杉浦 哲朗		
管理担当者氏名	総務企画課長	都築 泰仁	医療安全管理部長 瀬尾 宏美
	医事課長	山田 正三	
	薬剤部長	宮村 充彦	
	放射線部長	小川 恭弘	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課（カルテ室）及び薬剤部並びに放射線部	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に一患者一ファイル方式とし、エックス線写真は一患者一ファイル方式で共にコンピュータによる集中管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務企画課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務企画課	
	高度の医療の研修の実績	総務企画課	
	閲覧実績	総務企画課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	会計課及び薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十一の第一項の各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学部・病院事務部長 西村 仁秀
閲覧担当者氏名	総務企画課長 都築 泰仁
閲覧の求めに応じる場所	医事課 医事相談室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	76.0 %	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	10,367人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,214人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	997人	
	D：初診の患者の数	17,528人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号及び第 9 条の 23 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊟・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：(本院の安全管理のための指針)安全管理に関する基本的考え方(安全管理の体制確保という総合的観点から)医療に係る安全管理のための委員会その他組織に関する基本事項医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針医療に係る安全の確保を目的とした、事故報告等の改善のための方策に関する基本方針医療事故等発生時の対応に関する基本方針患者さんや第三者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針患者さんからの相談への対応に関する基本方針医薬品と医療機器安全管理に関する基本方針その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：(リスクマネジメント代表者会議規則)(1) 高知大学医学部附属病院医療安全管理部規則(平成16年5月26日施行)第3条に定める事項(2) 報告のあったインシデントの分析及び影響度レベルの判定に関する事(3) 判定した影響度レベルが 3 b 以上のものについて、医療問題調査委員会への報告に関する事(4) インシデントごとの解決策及び再発防止策等の企画・立案に関する事(5) 医療安全管理体制システム及びマニュアルの見直しに関する事(6) 研修会等の企画・立案に関する事(7) 協議事項の結果をリスクマネジメント担当者会議に周知徹底すること(8) その他安全管理に関する事	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 8 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：(全職員を対象に下記のテーマで計 1 8 回開催した)「中央防災会議新構想に基づく、医学部キャンパスの災害想定」「チームで取り組む医療安全」(同内容 2回)「職場のメンタルヘルスについて」「安全・安心な医療」(同内容 4回)「医療ガス講習会」「医療事故防止のために」(同内容 2回)「医療チームの安全を支えるノンテクニカルスキル」「医療安全管理の基本」「もうイライラしない! 実践的ストレスマネジメント」「IT時代における医療の個人情報管理について」「投薬事故防止のために」(同内容 2回)「発達障害の理解と支援」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備 (㊟・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">報告事例の分析を行い、事例に対応する事故防止のための研修会の開催、マニュアルの改定医療機器の不具合情報を厚生労働省に報告するとともに院内にもリスクマネジメントニュースにより周知病棟巡視を行って、その結果を病棟に示し、注意・改善を促している。報道された医療事故等の要約を全部署に配布し、事故防止について注意喚起している。	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	④ (3名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	④ (1名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	④・無
<p>所属職員： 専任（5）名 兼任（10）名 活動の主な内容：（医療安全管理部規則）</p> <p>（1）安全管理のための指針の整備及び情報収集に関すること。 （2）重要な検討内容について、患者への対応状況を含め病院長へ報告すること。 （3）重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに職員への周知を図ること。 （4）医療事故の防止及び対策に係る調査・分析に関すること。 （5）改善策を立案すること。 （6）改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。 （7）安全管理に関する教育・研修に関すること。 （8）安全管理に関する連絡調整に関すること。 （9）その他安全管理に関すること。</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	④・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会その他組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者さんや第三者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染の発生及びその感染経路の調査に関すること 2. 感染予防に係る情報の収集に関すること 3. 感染予防の実施、監視及び指導に関すること 4. 感染症発生時の措置に関すること 5. 院内職員の教育及び啓発に関すること 6. 消毒剤等の使用に関すること 7. その他感染予防に関すること 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 15 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：全職員を対象に下記のテーマで合計15回開催した <ul style="list-style-type: none"> ・ 手指衛生の重要性 ・ 塩酸バンコマイシン投与患者の血中濃度測定について ・ 流行性角結膜炎/真菌性眼内炎 ・ 外来診療における抗菌薬の使い方 ・ インフルエンザとノロウイルス ・ 高知大学病院の感染対策の現状および改善すべき事項について ・ 病院医療における口腔内管理の意義と実際 ・ がん治療患者を中心とした口腔内管理の実際 ・ かぜのなおし方 ・ 入院中に合併する感染症のマネジメント ・ 周術期抗菌薬 ・ 標準予防策 ・ 2012年当院の検出菌状況 その他、研修医、新採用看護師に対しても実施した 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染情報レポートは、週報 (毎週1回)、月報 (毎月1回)、年報 (毎年1回) 作成し、感染症法に基づく病原体 (MRSA、ペニシリン耐性肺炎球菌、感染性胃腸炎の病原菌、薬剤耐性緑膿菌、多剤耐性アシネトバクターなど)、β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性ヘモフィルス、3世代セフェム耐性基質拡散型β-ラクタマーゼ産生菌、クロストリジウム・ディフィシル菌、流行時期に応じてインフルエンザ、ノロウイルスなどの検出状況を示している。 2. MRSAについては、サーベイランスを行い、感染と保菌、院内発生と持込を診療科別、病棟別に示している。 3. これらの情報は、ベースラインを把握し、菌検出状況に応じて現場に出向き感染対策を徹底することによって、アウトブレイクの予防と早期察知に役立て、さらに感染対策実施状況の評価に活用している。 	

4. ICTに報告が必要な病原体として、血液培養陽性、多剤耐性緑膿菌、多剤耐性アシネトバクター、バンコマイシン耐性腸球菌、基質拡散型 β -ラクターゼ産生菌、ペニシリン耐性肺炎球菌、クロストリジウム・ディフィシル菌、下痢および嘔吐、食中毒、結核および結核の疑い、インフルエンザ、麻疹、水痘・带状疱疹、風疹、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎、百日咳、疥癬をあげている。
5. 診療科、病棟、外来、検査部からICTに報告があれば、
 - ① ICTは直ちに部署に出向き、患者発生状況を調査する
 - ② 感染が拡大しないように具体的な感染対策を指導する
 - ③ 接触者（患者、面会者、医療従事者）を確認し、必要な予防策を講じる
 - ④ 医師、看護師、ICT合同カンファレンスを開催し、情報の共有と対策の徹底を図る
 - ⑤ 随時感染制御部長から病院長（感染対策委員長）に報告する
 - ⑥ 診療科、病棟から所属長に報告する
 - ⑦ 必要に応じて保菌者スクリーニング、環境培養、詳細な疫学調査を実施する
6. 週1回、感染対策ラウンド
7. 週1回、感染症カンファレンス
8. 感染対策ニュース、感染対策ラウンドニュースの発行
9. 全部署の速乾性手指消毒薬使用量のモニタリング

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：(H24年度)<ol style="list-style-type: none">1. 麻薬・向精神薬の使い方(対象：研修医)2. 静脈注射に関する注意点について(対象：2年目以降の看護師)3. 抗菌薬の適正使用・消毒薬の適正使用(感染対策研修会)4. 安全・安心の医療(医療安全研修会、対象：全職員)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (☑・無)・ 業務の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 医薬品の採用・購入に関する事項2. 医薬品の管理に関する事項3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤までに関する事項4. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項5. 医薬品の安全使用に係わる情報の取扱いに関する事項6. 他施設(医療機関・薬局等)との連携に関する事項7. 医薬品安全性情報等の管理体制の充実に係る事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☑・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none">①IMIS掲示板及び全学グループウェアの掲示板②院内通知文書③医薬品・医療機器等安全性情報の発行④薬剤管理指導業務連絡会⑤DIニュースの発行⑥各種勉強会、講習会等	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>全職員・新人看護師・研修医等に対する、安全使用に関して技術の習得が必要と考えられる機器等の、適正な使用方法とインシデント対策等に関する定期研修、及び新しい医療機器の導入時の操作方法等に関する研修を実施。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (☑・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>特に安全使用に関して技術の習得が必要と考えられる機器を含む、人工呼吸器、人工心肺装置、輸液ポンプなどの機器類の定期点検、日常点検等を実施し、コンピュータ化されて機器名、型式等が入力されている機器台帳により個々に記録管理し、かつ保守点検計画を策定。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>使用部署に取扱い説明書等を整備。医療機器製造販売業者等から収集した安全情報は、病院の電子掲示板により周知を図るが、緊急を要する場合は、直接関係部署に出向き、説明し情報を伝え対応をとる。また、院内医療機器のインシデントの報告に対し、その安全対策・改善策を周知し実施する。さらに、医療機器の不具合は病院管理者への報告を通して、医療機器安全性情報報告書を原則として厚労省に提出する。</p>	